

2023年 東京都のHIV感染者・AIDS患者・梅毒患者の 発生動向等及び検査・相談事業の実績

HIV感染者・AIDS患者の発生動向

- ・東京都のHIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は302件であり、7年ぶりに増加した。内訳は、HIV感染者247件、AIDS患者55件で、ともに前年より増加した(図1-2)。新規報告数に占めるAIDS患者の割合は約18%であった。
- ・全国の新規報告数に占める東京都の割合は、HIV感染者が約37%(図1-4)、AIDS患者が約19%(図1-5)であった。この30年間、HIV感染者の割合は変化がないが、AIDS患者の割合は約30%から約20%に減ってきている。
- ・推定感染地別新規報告数年次推移は、国内感染は244件で2022年とほぼ変わらなかったが、国外感染は15件で2021年以降20件を下回っている(図1-6)。
- ・推定感染経路別新規報告数年次推移では、同性間性的接触は前年より増加し227件だったが、異性間性的接触は23件とこの30年間で最も少なく、同性間性的接触の数が多い状況であった(図1-7)。
- ・推定感染経路別では、HIV感染者の約87%(図1-8)、AIDS患者の約64%(図1-12)が性的接触であり、いずれにおいても同性間性的接触の占める割合が最も大きかった。
- ・年齢階級別では、HIV感染者は20歳代(約35%)と30歳代(約44%)が多く(図1-10)、AIDS患者は30歳代(約38%)が最も多く、40歳代(20%)が続いた。また、60歳以上(6件・約11%)の高齢者の報告もあった(図1-14)。
- ・国籍別及び性別では、HIV感染者とAIDS患者をあわせた新規報告数は、日本国籍男性が233件(約77%)と最も多かった。外国籍男性は65件(約22%)であった(図1-16)。
- ・新規AIDS患者報告数のうち、ニューモシスティス肺炎の発症をきっかけにAIDSと診断されたAIDS患者が約62%と最も多かった(図1-22)。

梅毒患者の発生動向

- ・東京都の梅毒患者の報告数は3,701件で、前年より24件増加し、依然として多い状況が続いている(図3-1)。
- ・男女別報告数は、男性は20～50歳代に多く、女性は20歳代に多い(図3-3)。
- ・先天梅毒報告数が9件と過去最多となった(図3-6)。

検査・相談・療養体制の実績

- ・都内のHIV/エイズ電話相談件数は11,110件で前年より1,596件増加した(図2-1)。
- ・「東京都HIV/エイズ電話相談」における相談件数は7,695件で、性別は男性が約86%(図2-2)、年齢別は50歳以上が約27%と最も多かった(図2-3)。相談内容は、感染不安や感染経路に関するものが多かった。
- ・2023年のHIV検査件数は23,693件で、前年から6,582件増加し(図2-5)、この10年間で最も検査数が多かったコロナ禍前の2019年の約74%まで回復した。
- ・月別のHIV検査件数はHIV検査・相談月間の6月、エイズ予防月間の11月～12月に多かった。(図2-6)。
- ・HIV検査における陽性率は、前年より0.06ポイント減少し0.46%であった。陽性数は区保健所が前年より11件多い30件と大幅に増え、全体は109件で前年より20件増加した(図2-7)。
- ・免疫機能障害による身体障害者手帳の交付数は年々増加し、2023年は10,636件で、前年より352件増加した(図2-11)。
- ・2023年の梅毒検査件数は23,220件で、前年から7,017件増加し(図4-1)、この10年間で最も検査数が多かったコロナ禍前の2019年の約78%まで回復した。
- ・梅毒検査における陽性率は、前年より0.2ポイント減少し2.5%であった。陽性数は区保健所がこの10年間で過去最多の180件、全体は前年より増え569件となった。(図4-2)。

本「AIDS News Letter No.185(資料編)」は、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づいて、2023年に報告されたHIV感染者とAIDS患者の統計及び区・都の保健所等における相談・検査業務の実績をまとめ、分析したものである。

図表中では、東京都新宿東口検査・相談室(旧東京都南新宿検査・相談室)を新宿東口、東京都多摩地域検査・相談室を多摩地域と記載する。また、保健所政令市である八王子市(2007年4月設置)、町田市(2011年4月設置)は都保健所に含めて計上する。

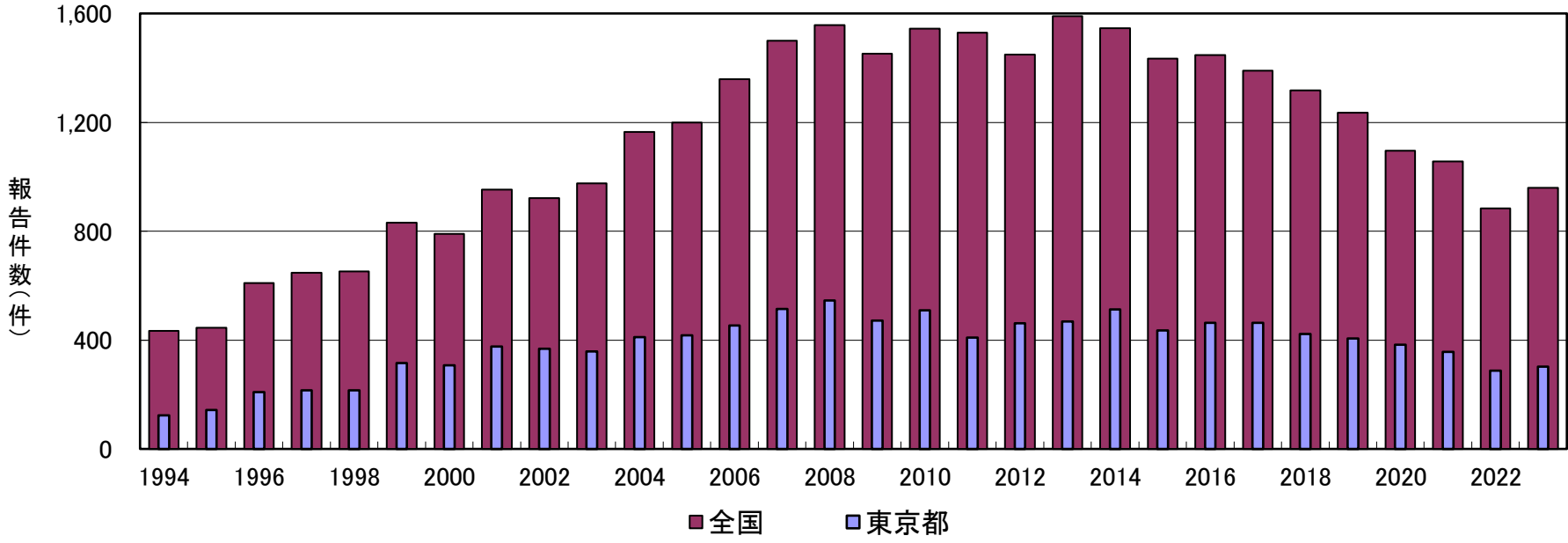
なお、2020年～2023年については、検査縮小や一時休止等、新型コロナウイルス感染症の影響がある。

Ⅰ 東京都のHIV感染者及びAIDS患者の発生動向			
[東京都と全国と比較]			
P3	1-1	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都と全国の新規報告数年次推移
	1-2	HIV感染者とAIDS患者	東京都のHIV感染者とAIDS患者新規報告数年次推移
	1-3	HIV感染者とAIDS患者	全国のHIV感染者とAIDS患者新規報告数年次推移
P4	1-4	HIV感染者	全国に占める東京都のHIV感染者新規報告数割合年次推移
	1-5	AIDS患者	全国に占める東京都のAIDS患者新規報告数割合年次推移
[推定感染地別報告数]			
P4	1-6	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染地別新規報告数年次推移
[推定感染経路別・年齢別報告数]			
P5	1-7	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の推定感染経路別新規報告数年次推移
	1-8	HIV感染者	東京都のHIV感染者の推定感染経路別新規報告数年次推移
	1-9	HIV感染者	東京都の日本国籍男性におけるHIV感染者の推定感染経路別新規報告数年次推移
P6	1-10	HIV感染者	東京都のHIV感染者の年齢階級別新規報告数年次推移
	1-11	HIV感染者	東京都の新規HIV感染者の年齢別・推定感染経路別報告割合（2023年）
	1-12	AIDS患者	東京都のAIDS患者の推定感染経路別新規報告数年次推移
P7	1-13	AIDS患者	東京都の日本国籍男性におけるAIDS患者の推定感染経路別新規報告数年次推移
	1-14	AIDS患者	東京都のAIDS患者の年齢階級別新規報告数年次推移
	1-15	AIDS患者	東京都の新規AIDS患者の年齢別・推定感染経路別報告割合（2023年）
[国籍別・性別報告数]			
P8	1-16	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の国籍別・性別新規報告数年次推移
	1-17	HIV感染者	東京都のHIV感染者の国籍別・性別新規報告数年次推移
	1-18	AIDS患者	東京都のAIDS患者の国籍別・性別新規報告数年次推移
[CD4値]			
P9	1-19	HIV感染者とAIDS患者の総計	東京都の新規HIV感染者と新規AIDS患者のCD4値の年次推移
	1-20	HIV感染者	東京都の新規HIV感染者の年代別CD4値（2023年）
P10	1-21	AIDS患者	東京都の新規AIDS患者の年代別CD4値（2023年）
[エイズ指標疾患の割合]			
P10	1-22	AIDS患者	東京都の新規AIDS患者の指標疾患割合（2023年）
Ⅱ 東京都のHIV/エイズに関する検査・相談数、療養体制			
[電話相談]			
P11	2-1	電話相談	HIV/エイズに関する電話相談件数年次推移
	2-2	電話相談	東京都HIV/エイズ電話相談における相談者の性別（2023年）
	2-3	電話相談	東京都HIV/エイズ電話相談における相談者の年齢（2023年）
	2-4	電話相談	東京都HIV/エイズ電話相談における相談内容（2023年）
[HIV検査]			
P12	2-5	HIV検査	HIV検査件数年次推移
	2-6	HIV検査	月別HIV検査件数
	2-7	HIV検査	HIV検査における陽性件数・陽性率年次推移
P13	2-8	HIV検査	年代別HIV検査件数の年次推移（全体・男性・女性）
P14	2-9	HIV検査	年代別HIV検査陽性者数の年次推移
[医療機関]			
P14	2-10	医療機関	東京都の新規HIV感染者報告の届出別割合
[身体障害者手帳]			
P14	2-11	身体障害者手帳	東京都の身体障害者手帳(免疫機能障害)交付数年次推移とHIV感染者、AIDS患者累積報告数
Ⅲ 東京都の梅毒患者の発生動向			
P15	3-1	梅毒患者	梅毒患者報告数の年次推移
	3-2	梅毒患者	梅毒患者推定感染経路別報告数の年次推移
	3-3	梅毒患者	梅毒患者性別・年齢別報告数の年次推移
P16	3-4	梅毒患者	梅毒患者性別性風俗産業（直近6か月）従事歴（報告件数・割合）
P17	3-5	梅毒患者	梅毒患者性別性風俗産業（直近6か月）利用歴（報告件数・割合）
	3-6	梅毒患者	梅毒の病型別患者報告数の年次推移
P18	3-7	梅毒患者	女性の梅毒患者報告数と先天梅毒・妊娠合併例報告数の年次推移
Ⅳ 東京都の梅毒検査数			
P18	4-1	梅毒検査	梅毒検査件数年次推移
P19	4-2	梅毒検査	梅毒検査における陽性件数・陽性率年次推移
Ⅴ 世界及び全国のHIV感染者・AIDS患者数			
P20	世界のHIV/AIDS流行状況2023年末現在（UNAIDS/WHO）		
	日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2023年末現在（厚生労働省）		

I 東京都のHIV感染者及びAIDS患者の発生動向

[東京都と全国の比較]
(HIV感染者とAIDS患者の総計)

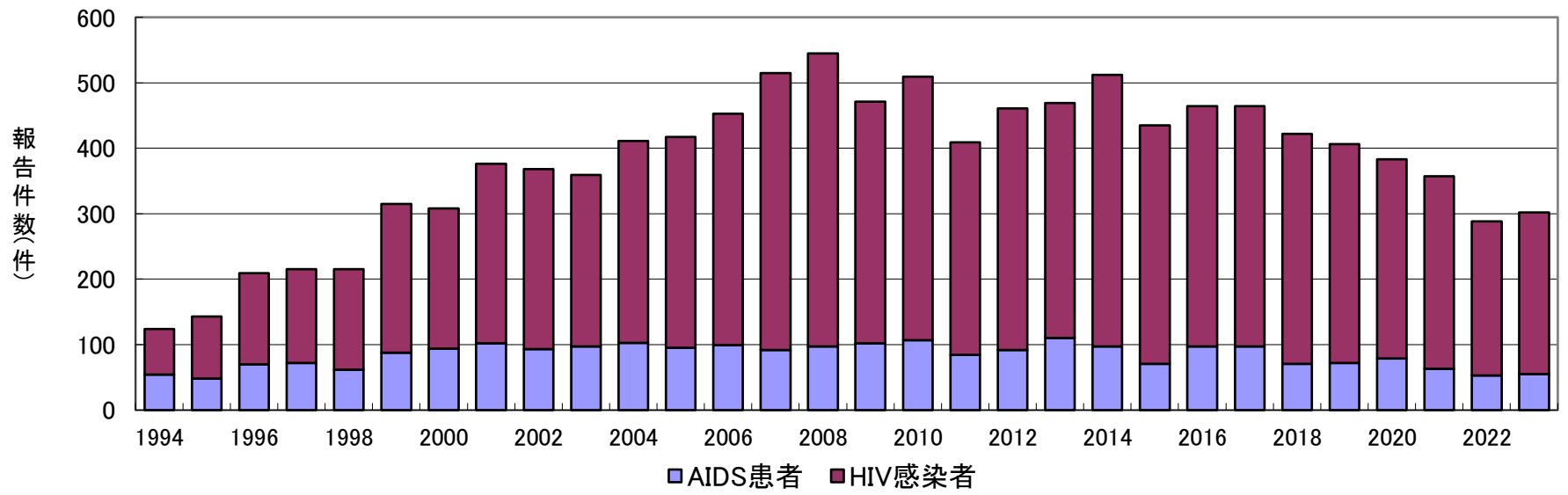
1-1
東京都と
全国の
新規報告数
年次推移



HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は、東京都では前年より14件増加し302件、全国では前年より76件増加し960件であった。

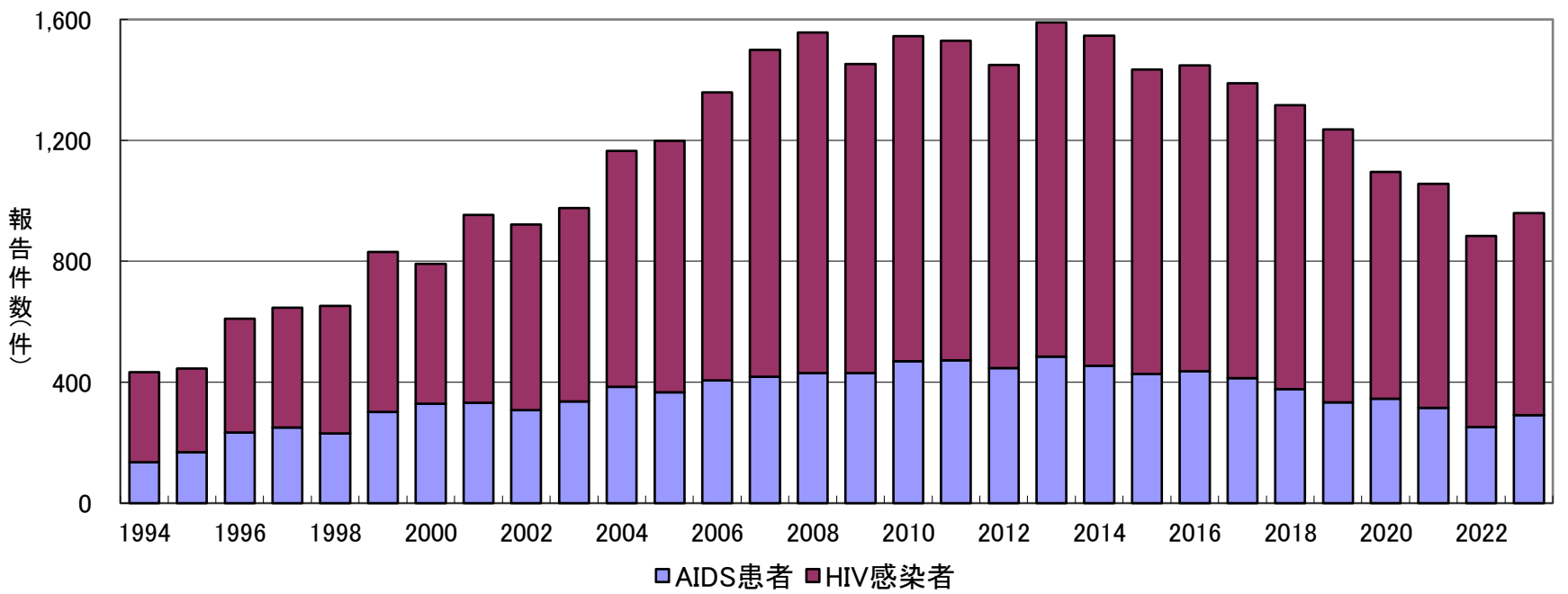
(HIV感染者とAIDS患者)

1-2
東京都の
HIV感染者
とAIDS患者
新規報告数
年次推移



東京都におけるHIV感染者新規報告数は前年より12件増加し247件であり、AIDS患者新規報告数は前年より2件増加し55件であった。

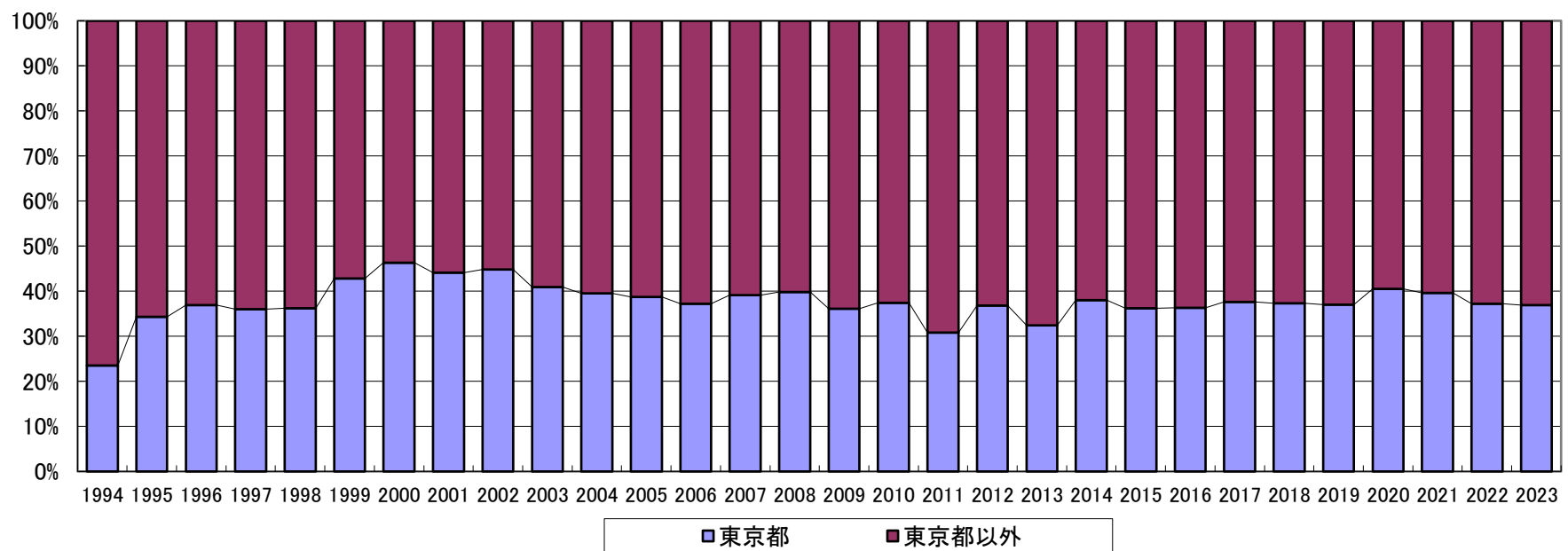
1-3
全国の
HIV感染者と
AIDS患者
新規報告数
年次推移



全国におけるHIV感染者新規報告数は、前年より37件増加し669件であった。AIDS患者新規報告数は前年より39件増加し291件であった。新規報告数のうち、約30%がAIDSを発症していた。

(HIV感染者)

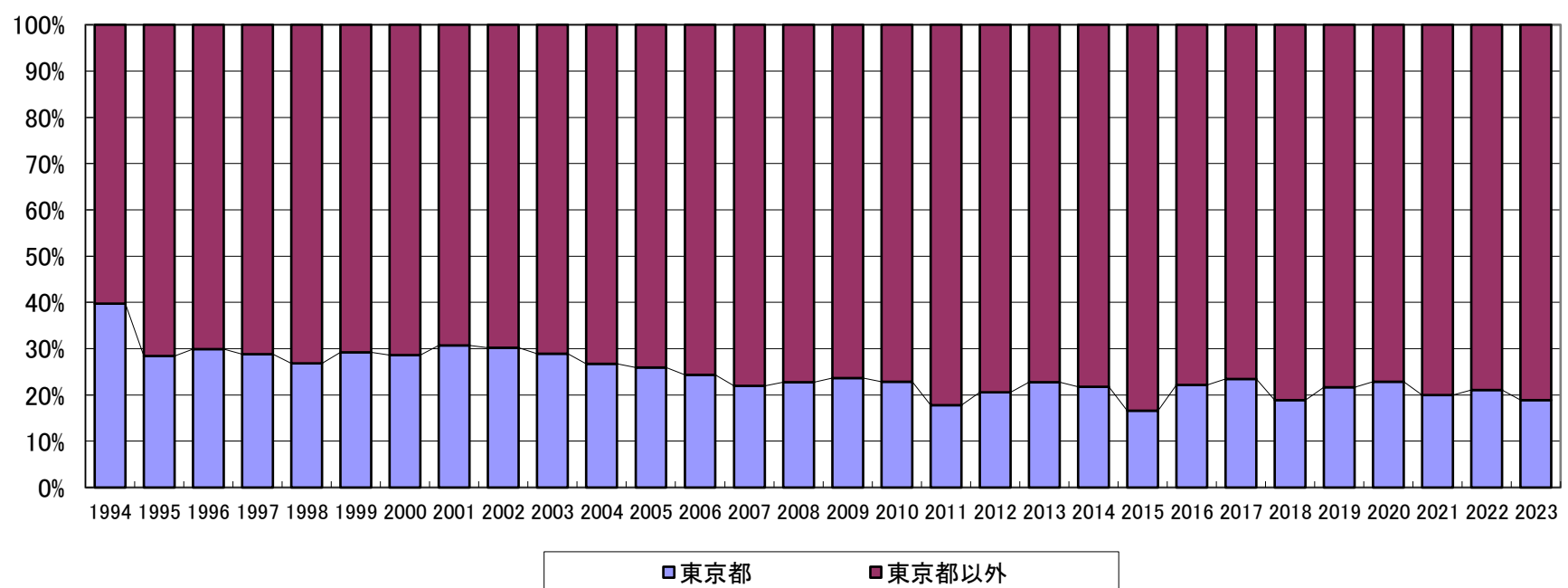
1-4
全国に占める
東京都の
HIV感染者
新規報告数
割合
年次推移



東京都のHIV感染者新規報告数は、2014年以降、全国の報告数の35%から40%程度を推移している。

(AIDS患者)

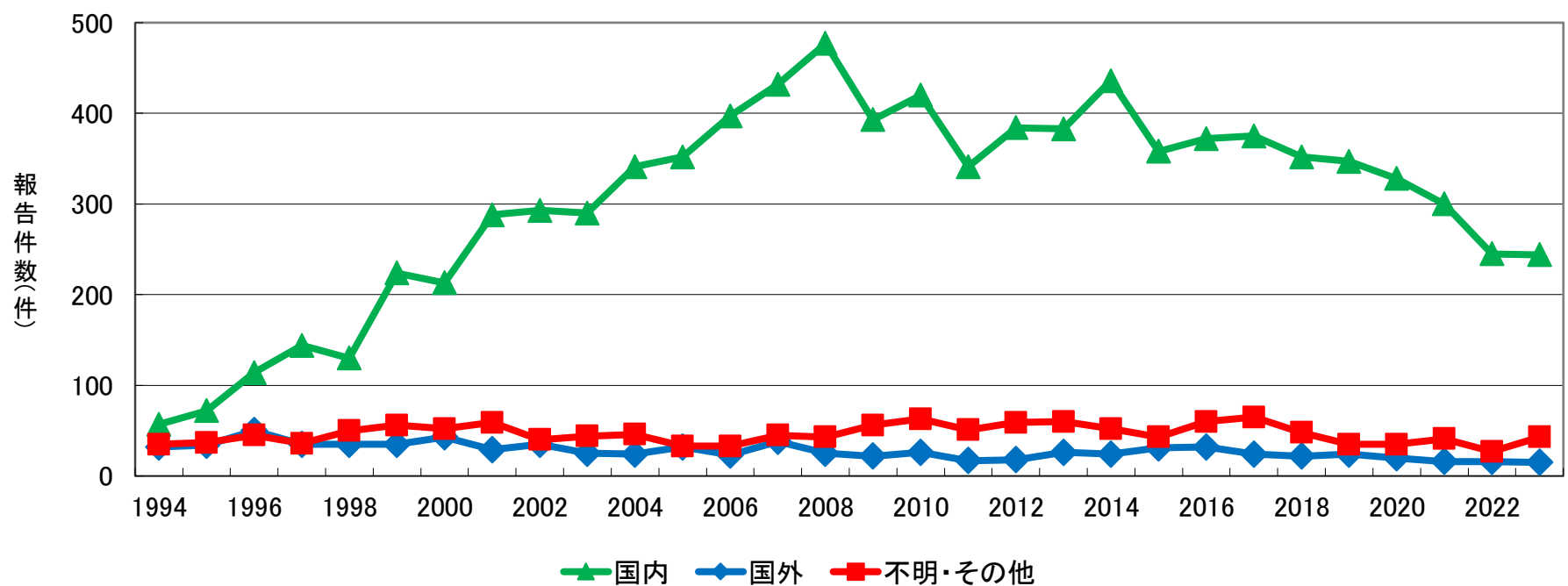
1-5
全国に占める
東京都の
AIDS患者
新規報告数
割合
年次推移



東京都のAIDS患者新規報告数は、2023年は全国の報告数の約19%であった。

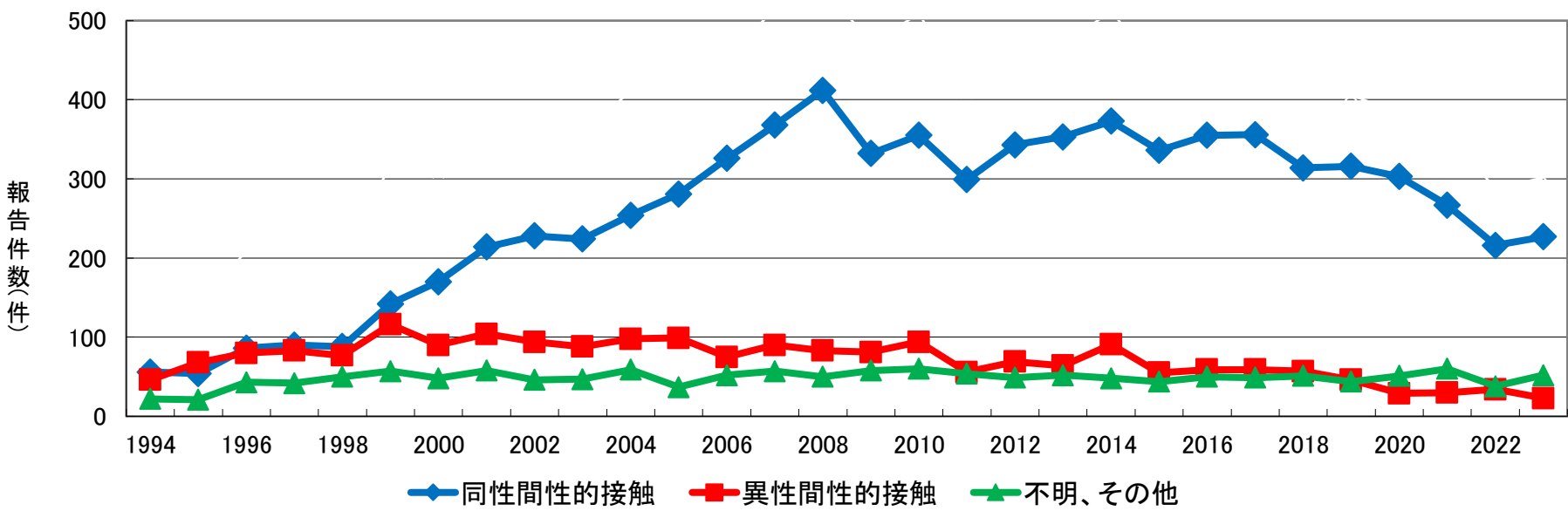
[推定感染地別報告数]
(HIV感染者とAIDS患者の総計)

1-6
東京都の
推定感染地
別新規報告
数年次推移



推定感染地別では、国内感染は244件で2022年とほぼ変わらなかった。国外感染は15件であり、2021年以降は20件を下回っている。

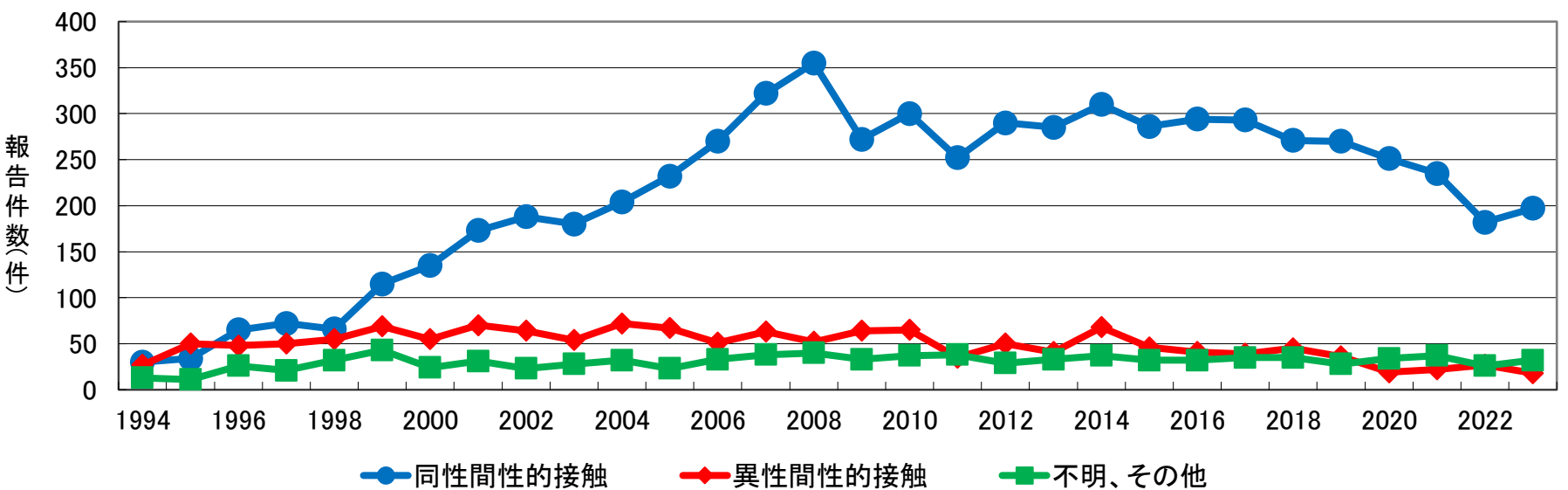
1-7
東京都の
推定感染経
路別
新規報告数
年次推移



推定感染経路別では、同性間性的接触(両性間性的接触含む)による新規報告数は、2008年の412件をピークに減少傾向にあり、2022年は216件まで減少したが、2023年は前年より11件増加し227件だった。異性間性的接触は2014年以降緩やかな減少傾向にあり、2023年は23件と、この30年間で最も少なかった。

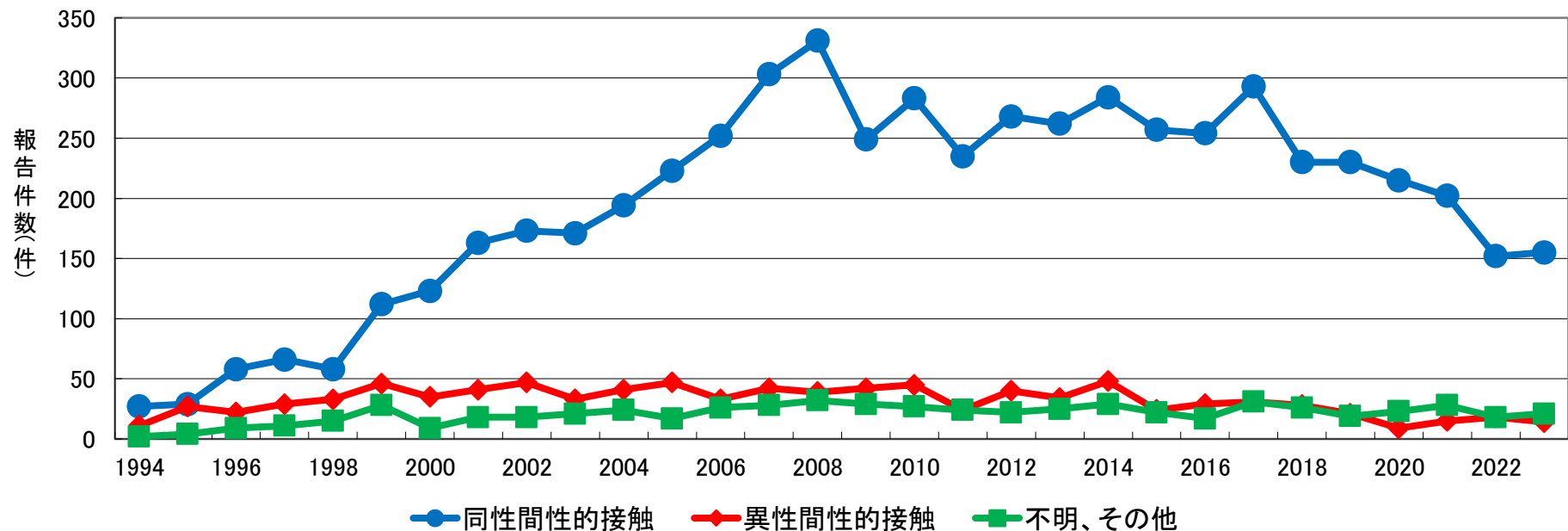
(HIV感染者)

1-8
東京都の
HIV感染者の
推定感染経
路別
新規報告数
年次推移



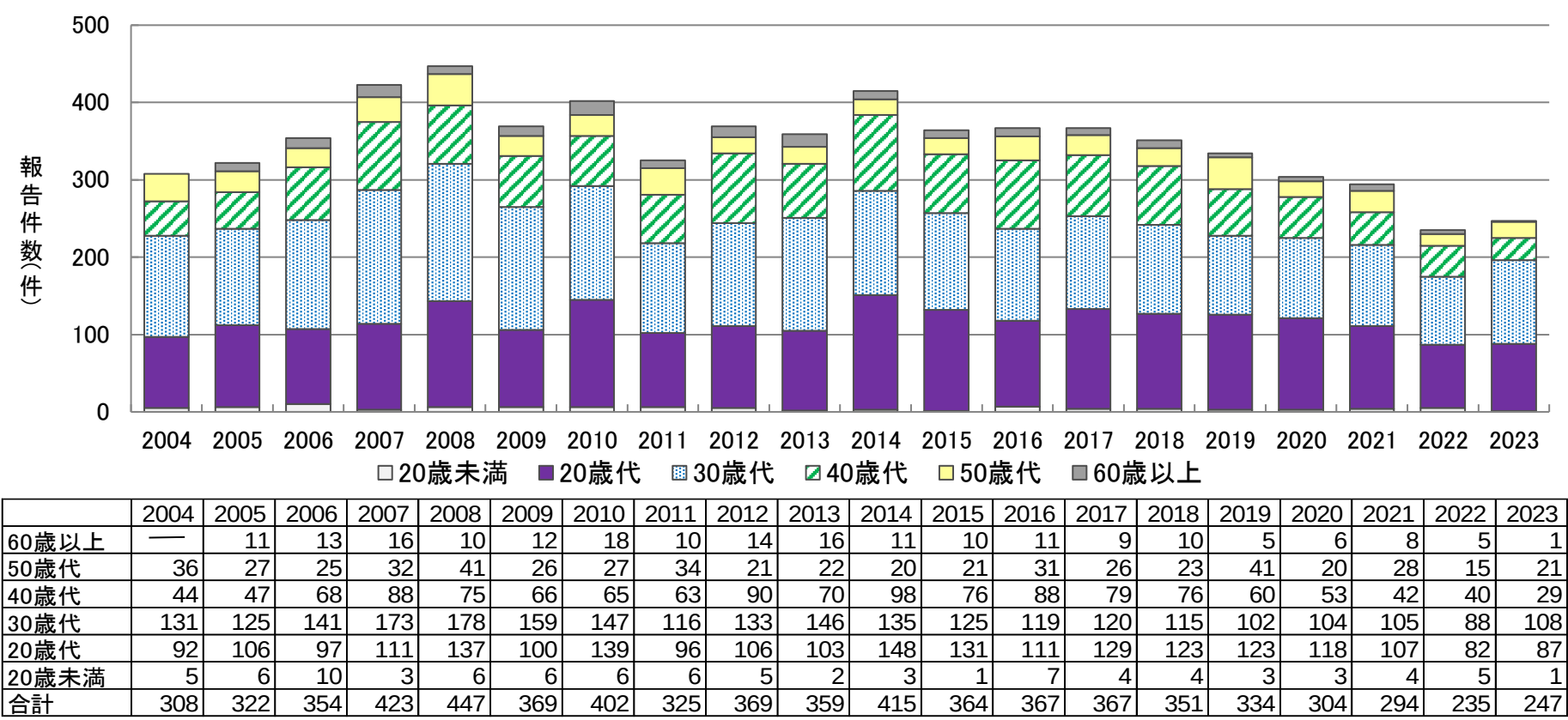
東京都のHIV感染者の新規報告のうち、同性間性的接触(両性間性的接触含む)の報告数は2008年の355件をピークに減少傾向にあり、2022年に182件まで減少したが、2023年は前年より15件増加し197件であった。異性間性的接触は18件と、この30年間で最も少なかった。

1-9
東京都の
日本国籍男
性における
HIV感染者の
推定感染経
路別
新規報告数
年次推移



東京都の日本国籍男性におけるHIV感染者の新規報告のうち、推定感染経路別では、同性間性的接触(両性間性的接触含む)の報告数は、2008年の331件をピークに翌年以降200件台で推移し、2023年は155件であった。一方、異性間性的接触の報告数は、2020年に9件まで減少し、2023年は前年より4件少ない14件であり、低い値で推移している。

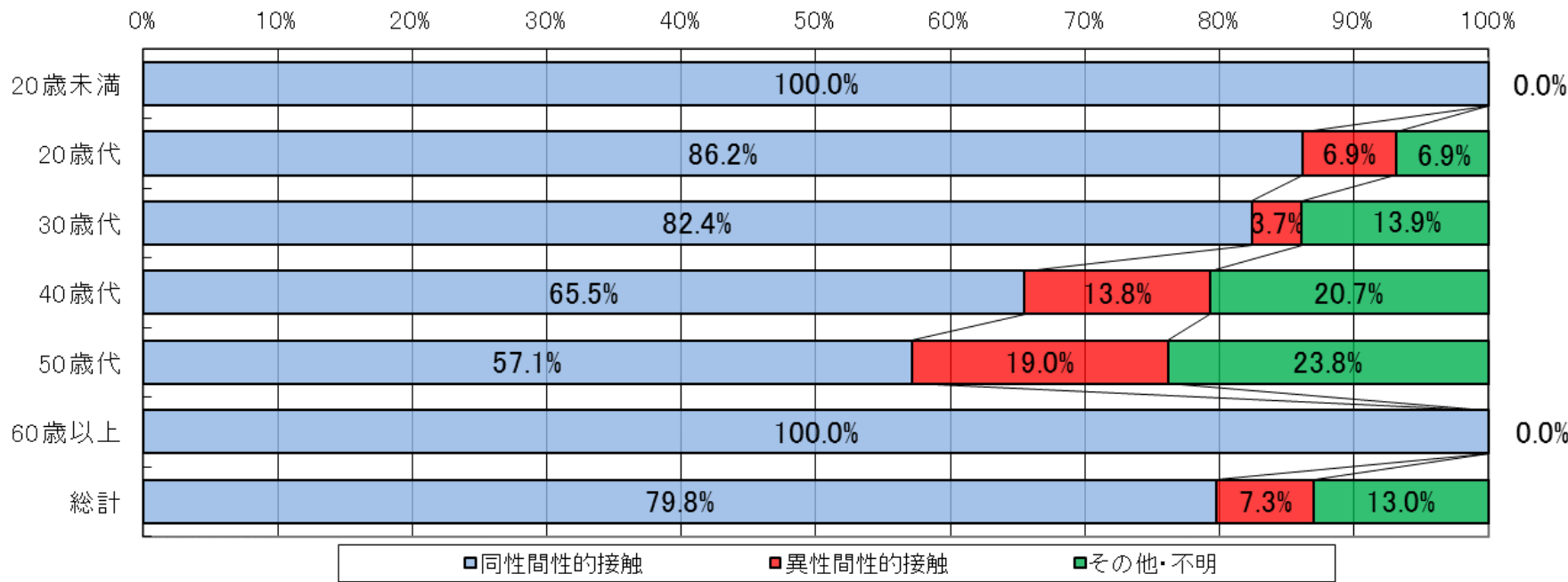
1-10
東京都の
HIV感染者の
年齢階級別
新規報告数
年次推移



※ 2004年は、50歳以上の報告数を50歳代に記載

東京都のHIV感染者の年齢階級別新規報告数は、20歳代(87件)、30歳代(108件)が多かった。2023年は前年に比べ20歳未満、40歳代、60歳以上の新規報告数は減少した。

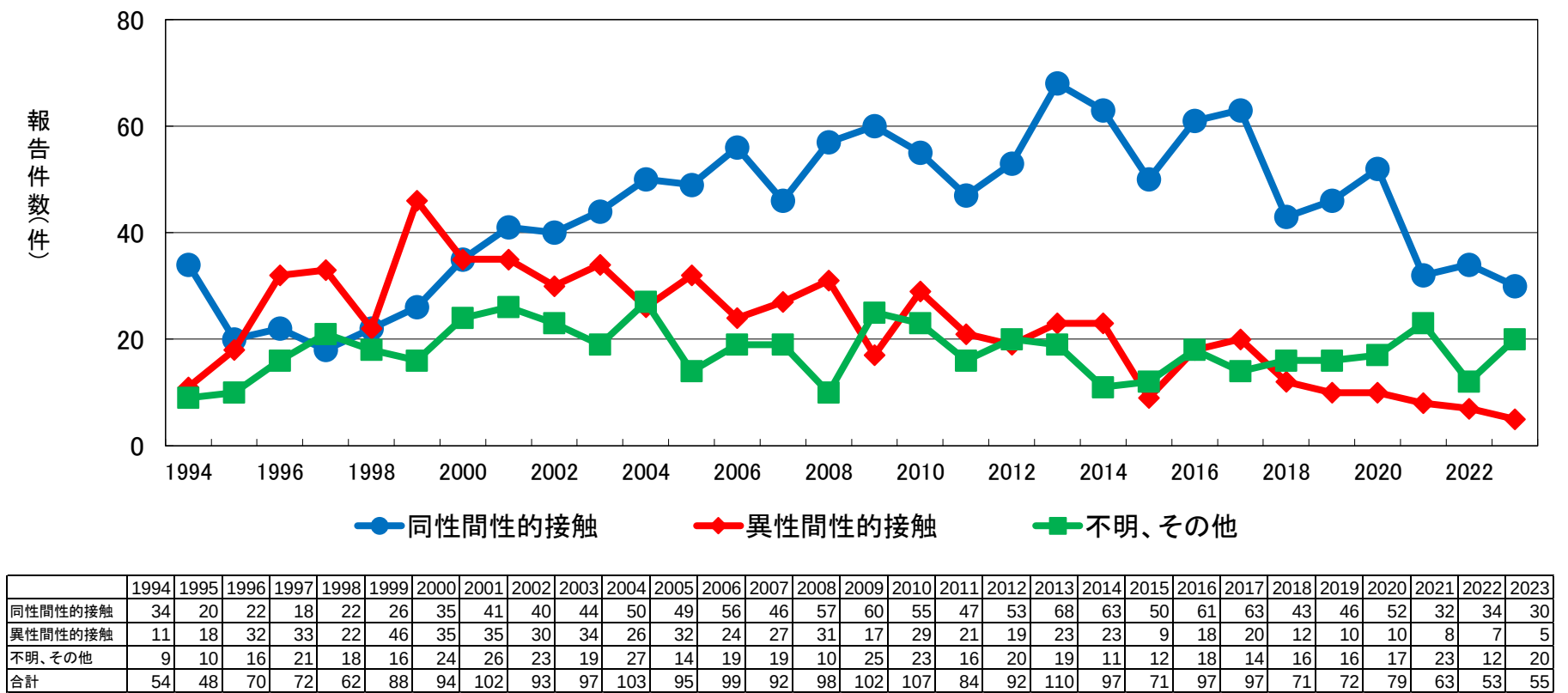
1-11
東京都の
新規HIV感染者の年齢
別・
推定感染
経路別
報告割合
(2023年)



東京都の新規HIV感染者のうち、感染経路別では同性間性的接触(両性間性的接触含む)の割合が、全体の約80%を占めていた。但し、40歳代、50歳代は同性間性的接触(両性間性的接触含む)はそれぞれ65.5%、57.1%で、ほかの年代と比較して同性間性的接触が低かった。

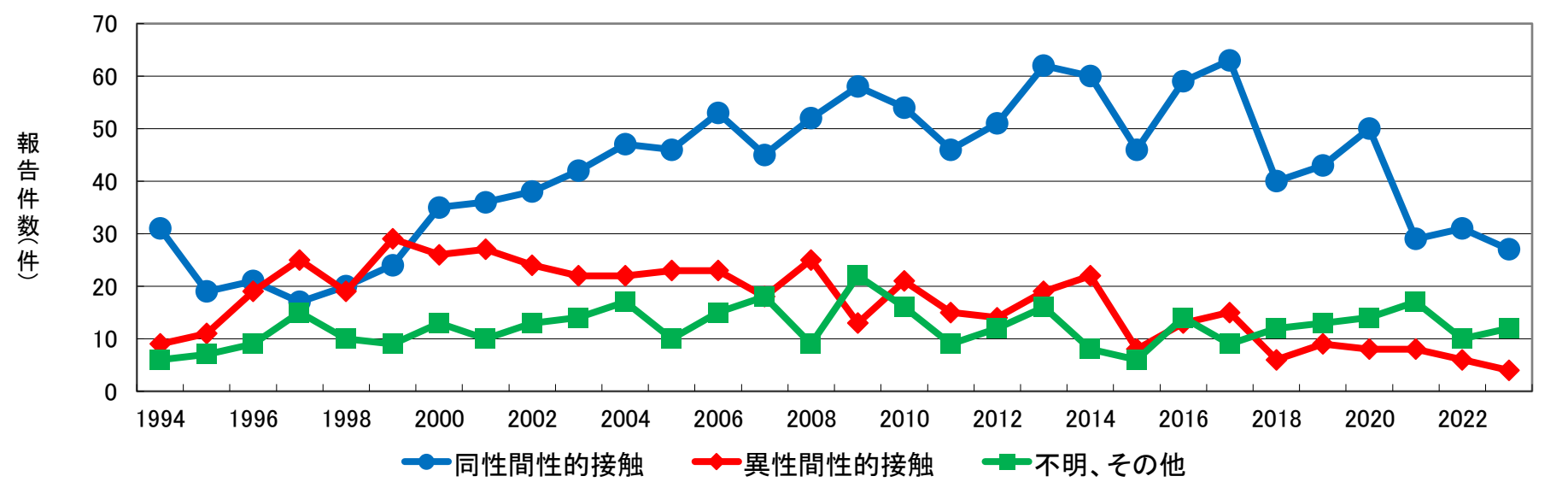
(AIDS患者)

1-12
東京都の
AIDS患者の
推定感染経
路別
新規報告数
年次推移



東京都のAIDS患者の新規報告のうち、推定感染経路別では同性間性的接触(両性間性的接触含む)の報告数は前年より4件減少し30件であった。異性間性的接触の報告数は前年より2件減少し5件であった。

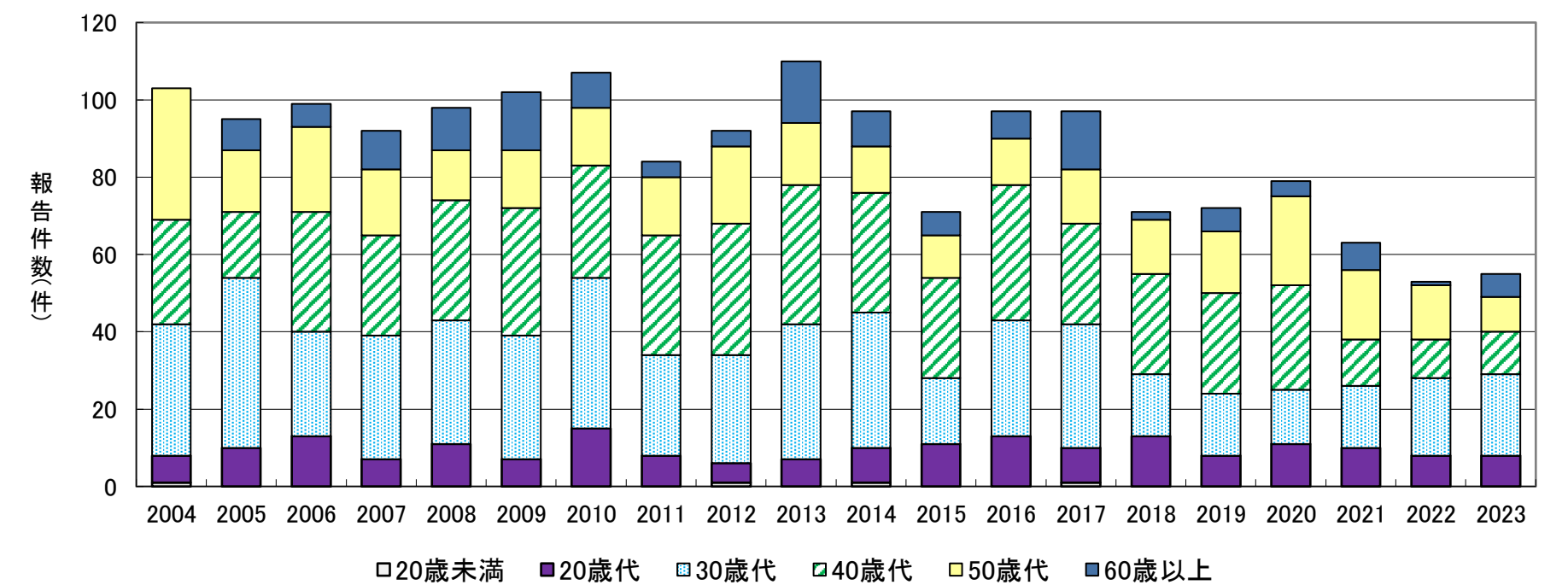
1-13
東京都の
日本国籍男
性における
AIDS患者の
推定感染経
路別
新規報告数
年次推移



	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
同性間性的接触	31	19	21	17	20	24	35	36	38	42	47	46	53	45	52	58	54	46	51	62	60	46	59	63	40	43	50	29	31	27
異性間性的接触	9	11	19	25	19	29	26	27	24	22	22	23	23	18	25	13	21	15	14	19	22	8	13	15	6	9	8	8	6	4
不明、その他	6	7	9	15	10	9	13	10	13	14	17	10	15	18	9	22	16	9	12	16	8	6	14	9	12	13	14	17	10	12
合計	46	37	49	57	49	62	74	73	75	78	86	79	91	81	86	93	91	70	77	97	90	60	86	87	58	65	72	54	47	43

東京都の日本国籍男性におけるAIDS患者の新規報告のうち、推定感染経路別では、同性間性的接触(両性間性的接触含む)の報告数は前年より4件減少し27件であった。

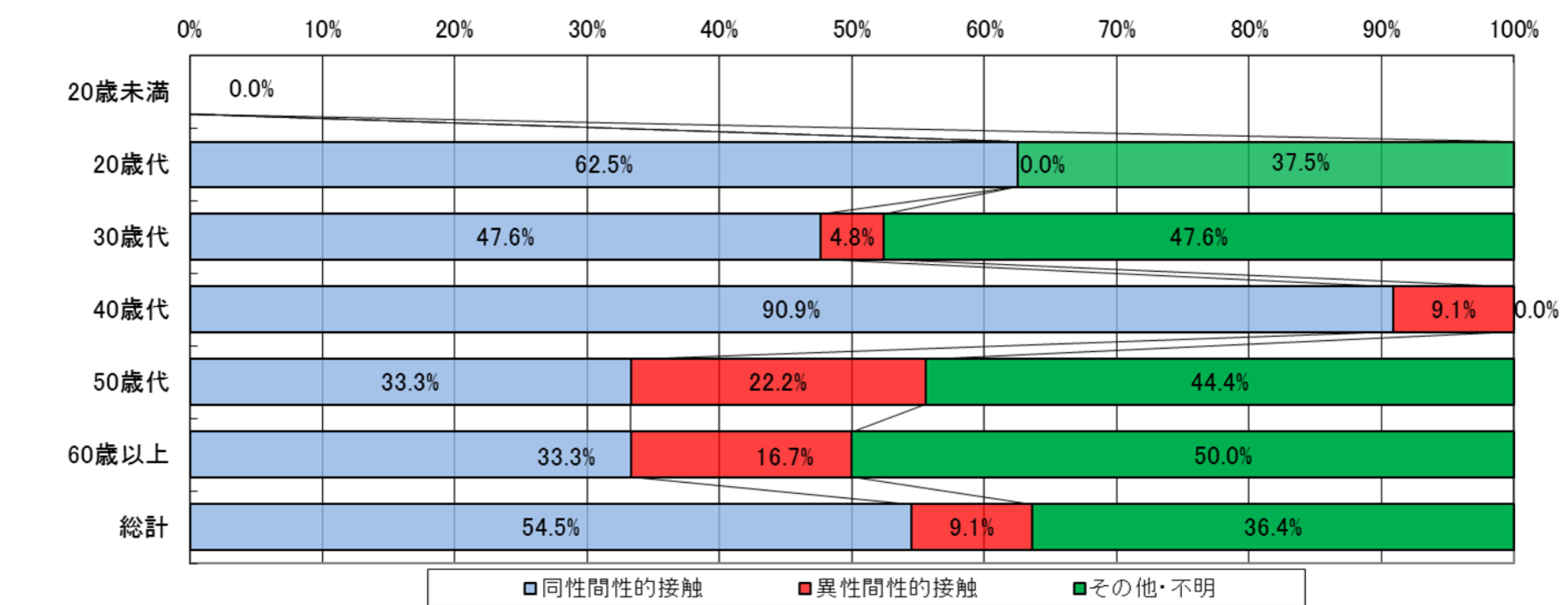
1-14
東京都の
AIDS患者の
年齢階級別
新規報告数
年次推移



	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
60歳以上	—	8	6	10	11	15	9	4	4	16	9	6	7	15	2	6	4	7	1	6
50歳代	34	16	22	17	13	15	15	15	20	16	12	11	12	14	14	16	23	18	14	9
40歳代	27	17	31	26	31	33	29	31	34	36	31	26	35	26	26	26	27	12	10	11
30歳代	34	44	27	32	32	32	39	26	28	35	35	17	30	32	16	16	14	16	20	21
20歳代	7	10	13	7	11	7	15	8	5	7	9	11	13	9	13	8	11	10	8	8
20歳未満	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
合計	103	95	99	92	98	102	107	84	92	110	97	71	97	97	71	72	79	63	53	55

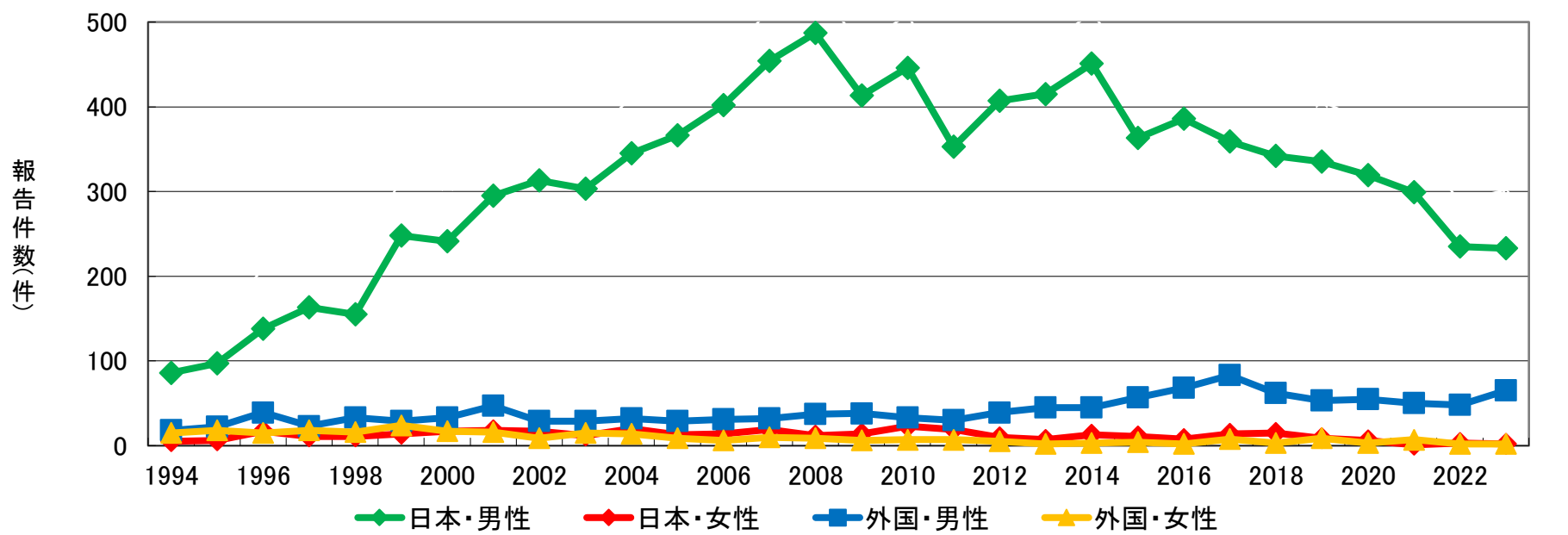
東京都のAIDS患者の年齢階級別新規報告数は、30歳代21件、40歳代11件、50歳代9件の順に多かった。また、60歳以上も6件報告があった。

1-15
東京都の新規AIDS患者の
年齢別・推定感染経路別
報告割合
(2023年)



東京都の新規AIDS患者のうち、感染経路別では同性間性的接触(両性間性的接触含む)の割合が、全体の54.5%を占めていた。

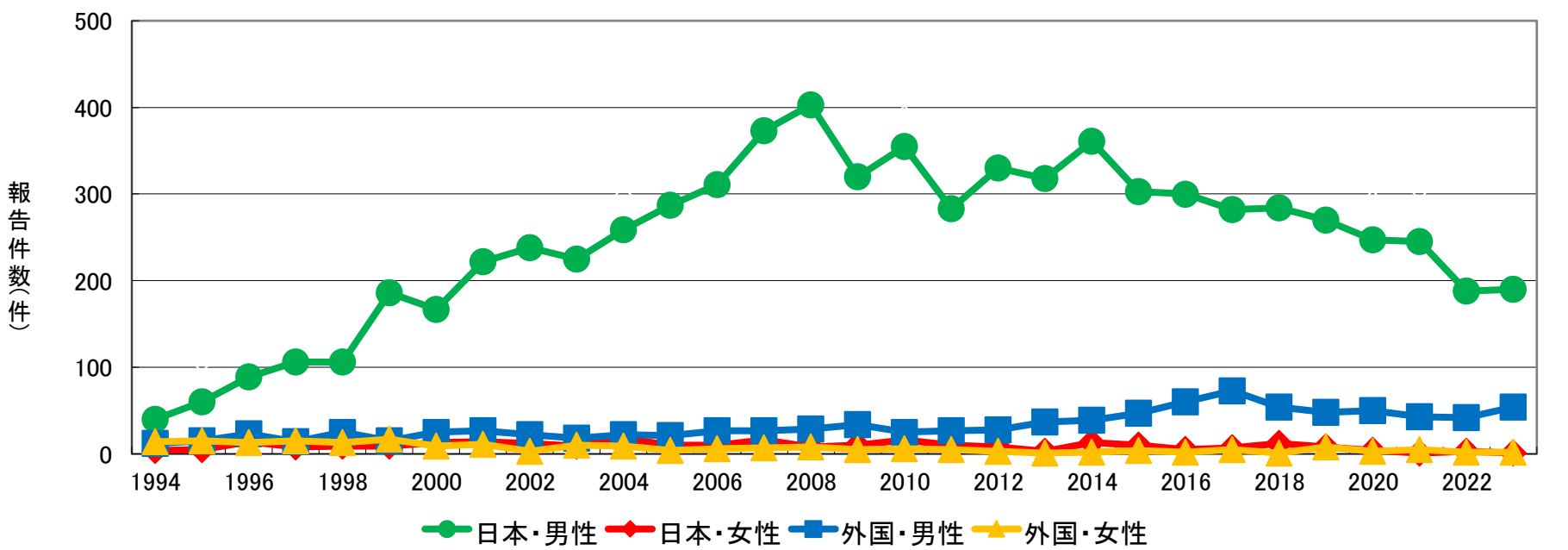
1-16
東京都の
国籍別・
性別
新規報告数
年次推移



	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
日本・男性	86	97	138	163	155	248	241	295	313	303	345	366	402	454	487	413	446	353	407	415	451	363	386	359	342	335	319	299	235	233
日本・女性	5	6	17	11	11	14	17	18	17	12	20	13	14	19	12	14	23	19	10	7	13	11	8	14	15	9	6	1	3	2
外国・男性	18	22	39	23	33	29	33	47	29	29	32	29	31	32	37	38	33	30	39	45	45	57	68	83	62	53	55	50	48	65
外国・女性	15	18	15	18	16	24	17	16	9	15	14	9	6	10	9	6	7	7	5	2	3	4	2	8	3	9	3	7	2	2
合計	124	143	209	215	215	315	308	376	368	359	411	417	453	515	545	471	509	409	461	469	512	435	464	464	422	406	383	357	288	302

国籍および性別では、日本国籍男性の新規報告数は前年より2件減少し233件、外国籍男性は17件増加し65件であった。日本国籍女性
性は2件、外国籍女性性は2件でありほぼ横ばいである。

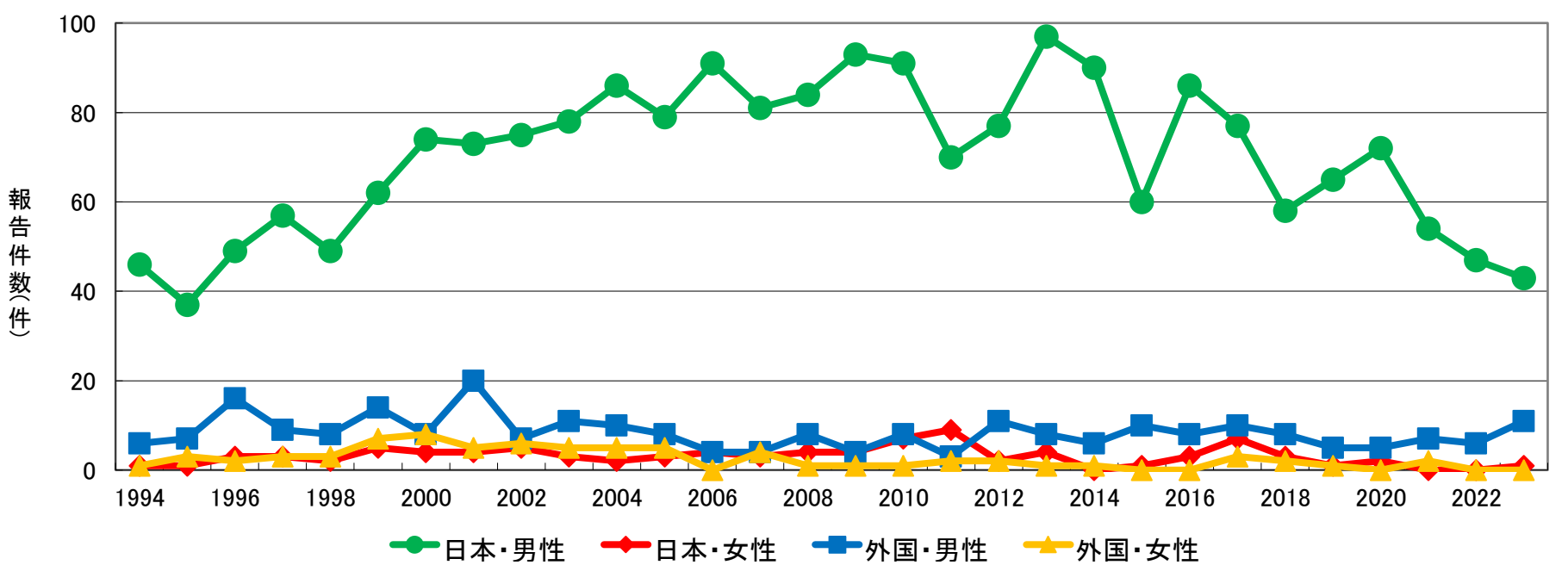
1-17
東京都のHIV
感染者の国
籍別・性別
新規報告数
年次推移



	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
日本・男性	40	60	89	106	106	186	167	222	238	225	259	287	311	373	403	320	355	283	330	318	361	303	300	282	284	270	247	245	188	190
日本・女性	4	5	14	8	9	9	13	14	12	9	18	10	10	16	8	10	16	10	8	3	13	10	5	7	12	8	4	1	3	1
外国・男性	12	15	23	14	25	15	25	27	22	18	22	21	27	27	29	34	25	27	28	37	39	47	60	73	54	48	50	43	42	54
外国・女性	14	15	13	15	13	17	9	11	3	10	9	4	6	7	8	5	6	5	3	1	2	4	2	5	1	8	3	5	2	2
合計	70	95	139	143	153	227	214	274	275	262	308	322	354	423	448	369	402	325	369	359	415	364	367	367	351	334	304	294	235	247

東京都のHIV感染者の国籍および性別では、日本国籍男性の新規報告数は前年より2件増加し190件であった。外国籍男性は、前年
より12件増加し54件であった。

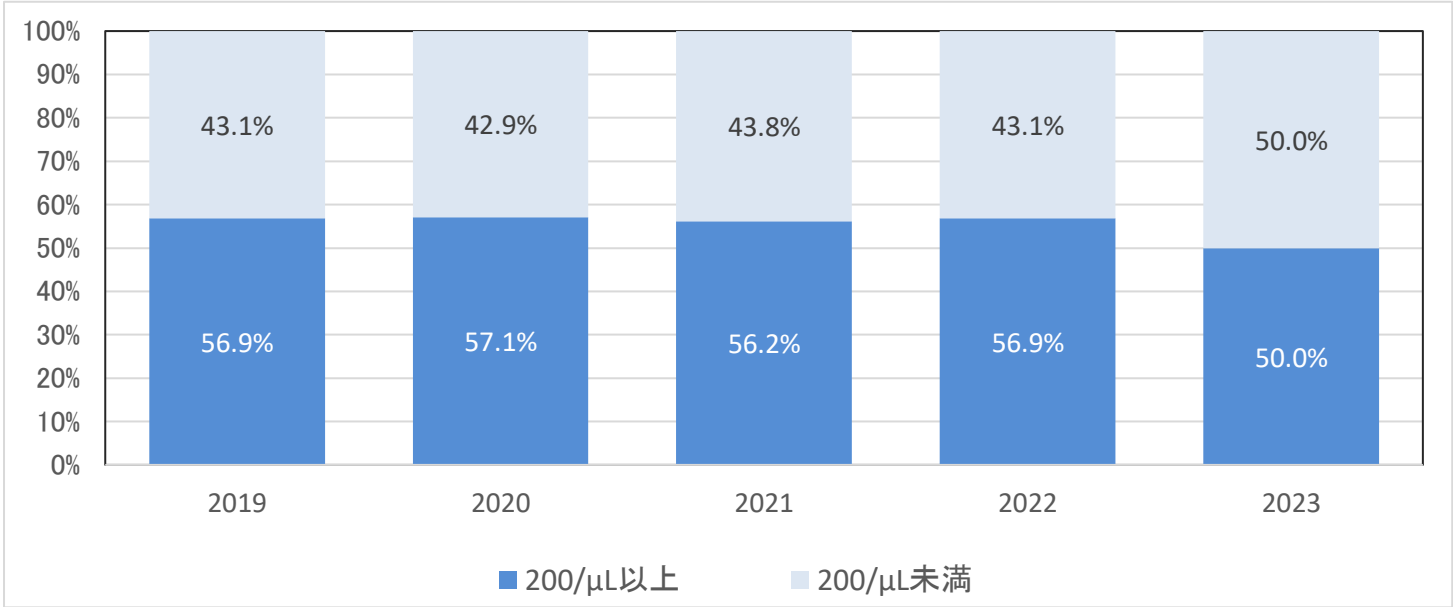
1-18
東京都の
AIDS患者の
国籍別・
性別
新規報告数
年次推移



	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
日本・男性	46	37	49	57	49	62	74	73	75	78	86	79	91	81	84	93	91	70	77	97	90	60	86	77	58	65	72	54	47	43
日本・女性	1	1	3	3	2	5	4	4	5	3	2	3	4	3	4	4	7	9	2	4	0	1	3	7	3	1	2	0	0	1
外国・男性	6	7	16	9	8	14	8	20	7	11	10	8	4	4	8	4	8	3	11	8	6	10	8	10	8	5	5	7	6	11
外国・女性	1	3	2	3	3	7	8	5	6	5	5	5	0	4	1	1	1	2	2	1	1	0	0	3	2	1	0	2	0	0
合計	54	48	70	72	62	88	94	102	93	97	103	95	99	92	97	102	107	84	92	110	97	71	97	97	71	72	79	63	53	55

東京都のAIDS患者の国籍および性別では、日本国籍男性の新規報告数は前年より4件減少し43件であった。外国籍男性は前年より5件
増加し11件であった。日本国籍女性及び外国籍女性性はほぼ横ばいである。

1-19
東京都の新規
HIV感染者と
新規AIDS患者
のCD4値の年
次推移

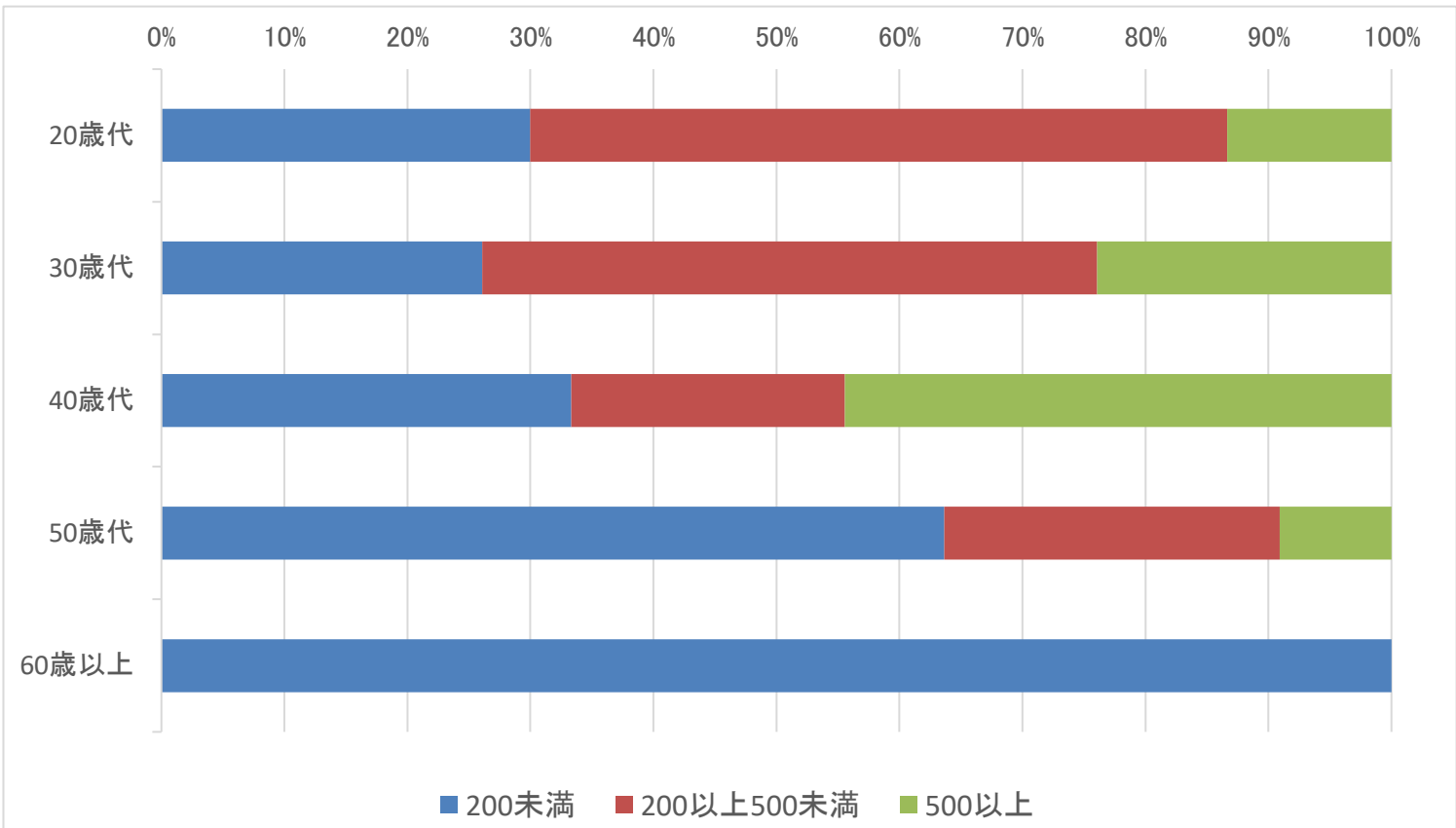


	2019	2020	2021	2022	2023
200/μL未満	100	93	85	69	66
200/μL以上	132	124	109	91	66
合計	232	217	194	160	132

※2023年の発生届出件数302件のうち、値が入力されているものは132件

2023年の新規HIV感染者と新規エイズ患者のCD4値は、200/μL以上と200/μL未満の割合が半々であった。

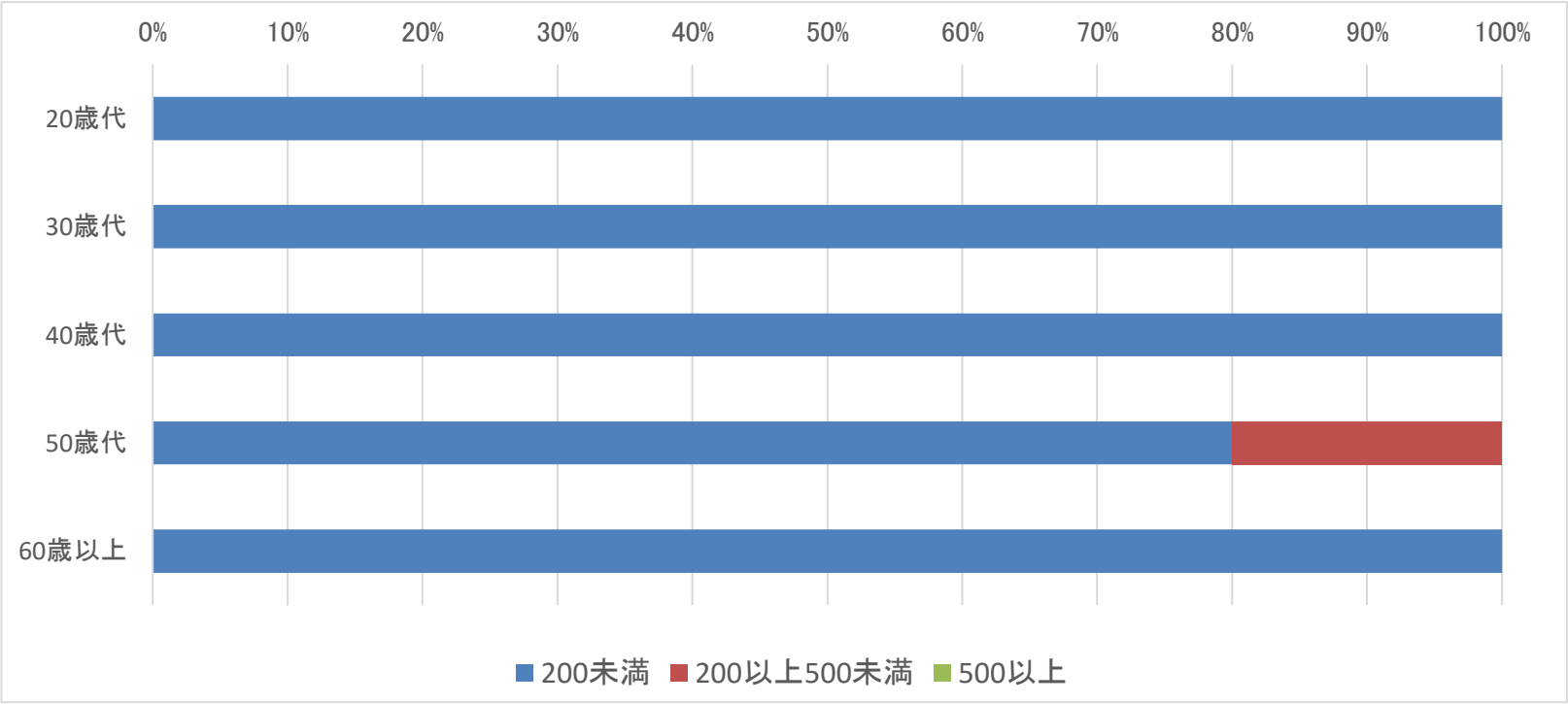
1-20
東京都の新規
HIV感染者の
年代別CD4値
(2023年)



CD4値(μL) 年代	200未満	200以上500未満	500以上	合計	(参考) CD4値未記載
20歳未満	0	0	0	0	1
20歳代	9	17	4	30	57
30歳代	12	23	11	46	62
40歳代	3	2	4	9	20
50歳代	7	3	1	11	10
60歳以上	1	0	0	1	0
合計	32	45	20	97	150

東京都の新規HIV感染者のCD4の値は、年代が上がるにつれ、200/μL未満の報告割合が増加した。

1-21
東京都の新規AIDS患者の年代別CD4値
(2023年)

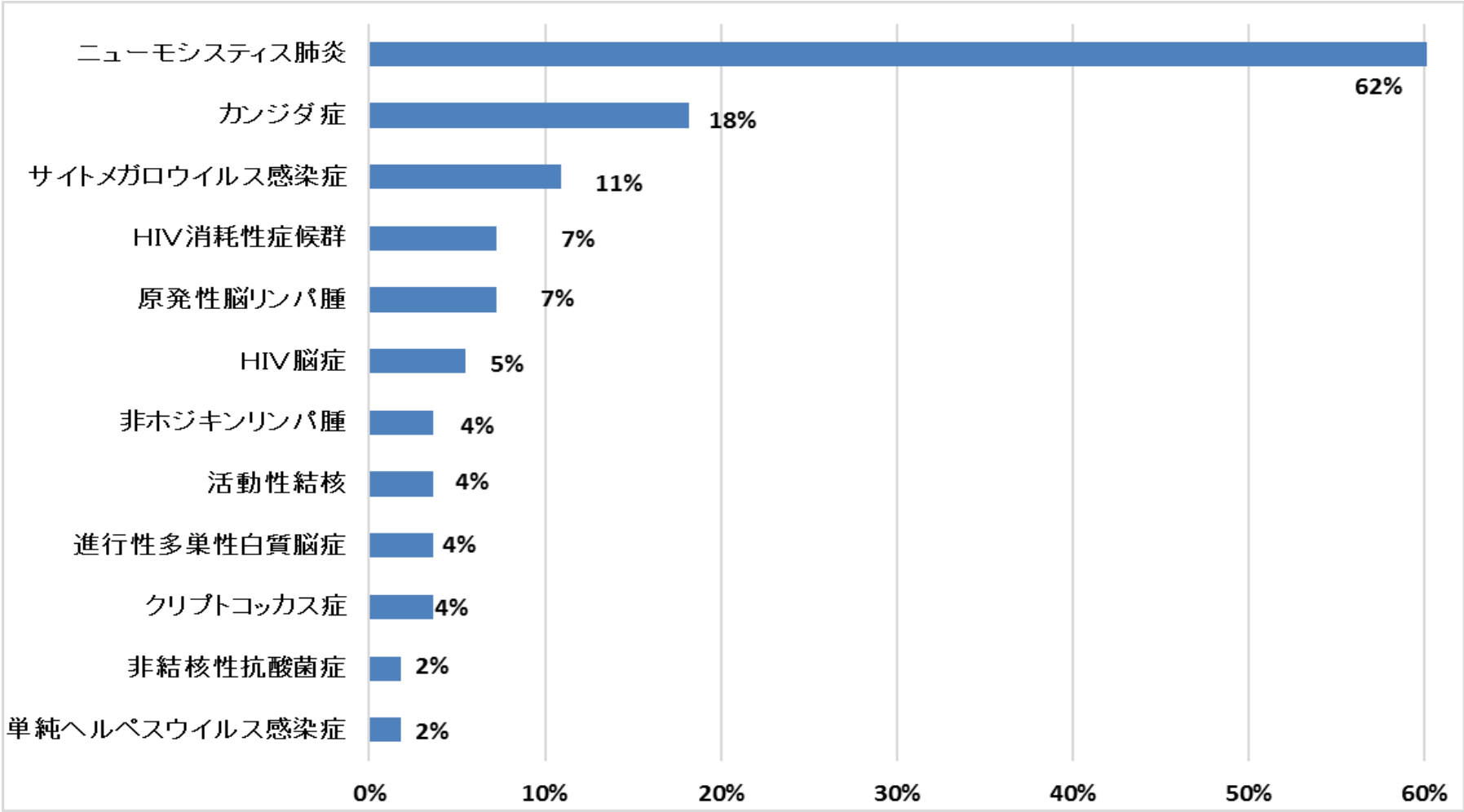


年代 \ CD4値(μL)	200未満	200以上500未満	500以上	合計	(参考) CD4値未記載
20歳未満	0	0	0	0	0
20歳代	7	0	0	7	1
30歳代	13	0	0	13	8
40歳代	8	0	0	8	3
50歳代	4	1	0	5	4
60歳以上	2	0	0	2	4
合計	34	1	0	35	20

東京都の新規AIDS患者のCD4の値は、日和見感染のリスクが高まる200/μL未満がほとんどであった。

[エイズ指標疾患の割合]
(AIDS患者)

1-22
東京都の新規AIDS患者の指標疾患割合
(2023年)
* 複数回答あり

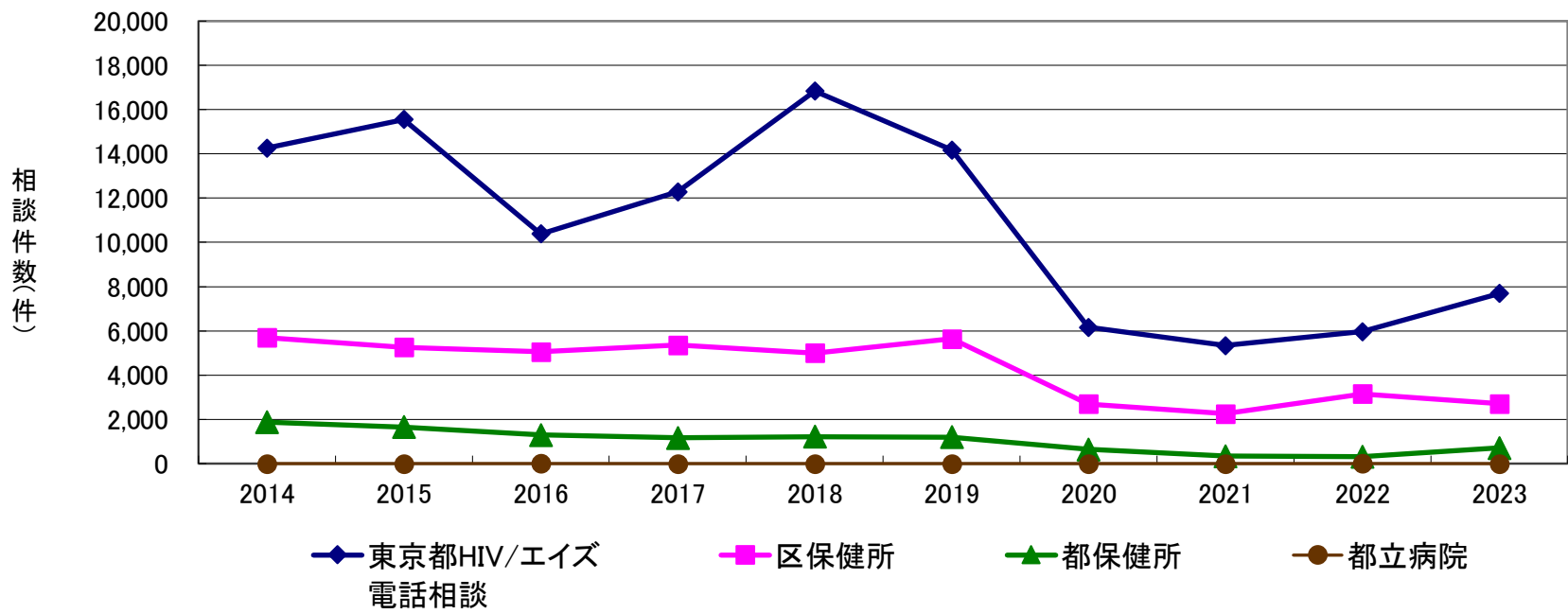


2023年にAIDSと報告された者の約62%がニューモシスティス肺炎によりAIDSと診断されている。次いでカンジダ症が約18%、サイトメガロウイルス感染症が約11%、HIV消耗性症候群と原発性脳リンパ腫が約7%の順となっている。

Ⅱ 東京都のHIV/エイズに関する検査・相談数、療養体制

[電話相談]

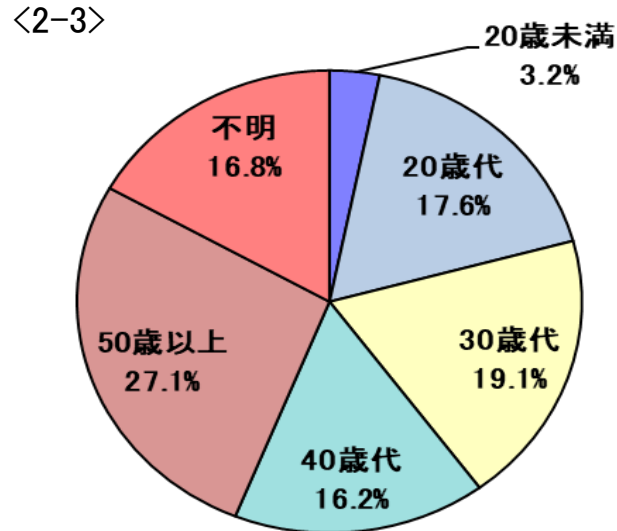
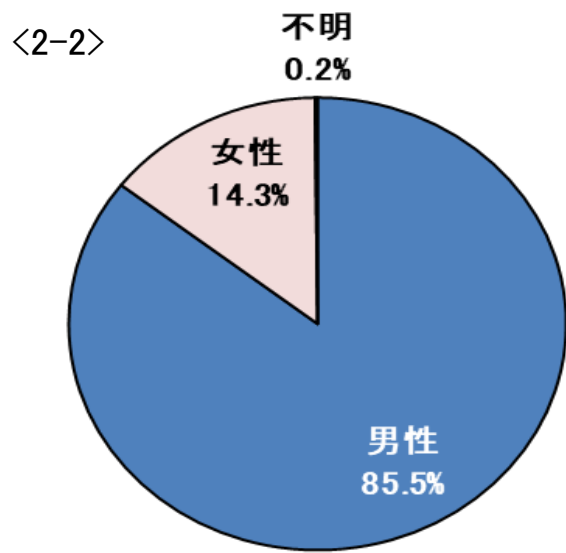
2-1
HIV/エイズに関する電話相談件数
年次推移



	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
東京都HIV/エイズ電話相談	14,263	15,555	10,389	12,293	16,836	14,181	6,167	5,342	5,974	7,695
区保健所	5,693	5,262	5,055	5,358	5,001	5,639	2,696	2,258	3,225	2,703
都保健所	1,873	1,653	1,297	1,167	1,219	1,197	644	343	314	712
都立病院	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
合計	21,829	22,470	16,742	18,818	23,056	21,017	9,507	7,943	9,514	11,110

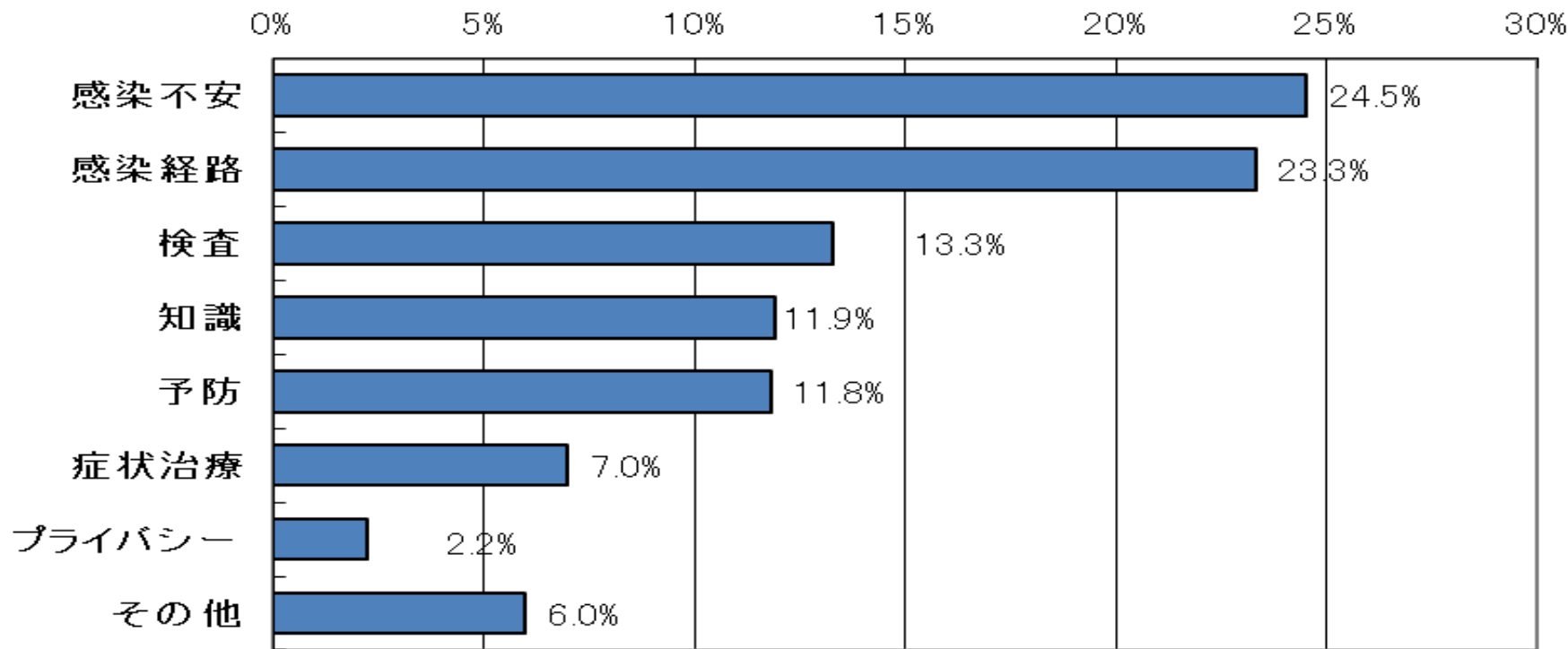
HIV/エイズに関する電話相談は、2万件前後で推移していたが、2021年は新型コロナウイルスの影響もあり、最も少なかった。2023年は11,110件と前年より1,596件増加した。

2-2
東京都HIV/エイズ電話相談における相談者の性別
(2023年)



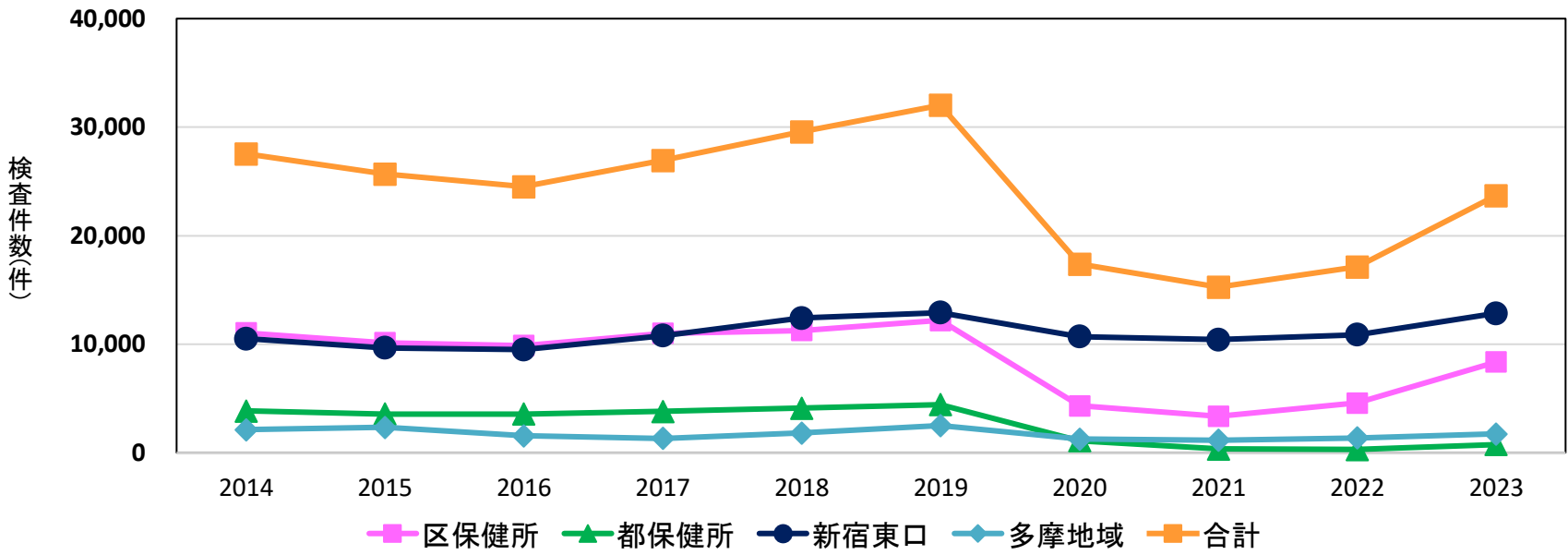
性別割合では、約86%が男性であった。年齢別に見ると、50歳以上が27.1%と一番多く、次に30歳代、20歳代が多かった。

2-4
東京都HIV/エイズ電話相談における相談内容
(2023年)
* 複数回答



東京都エイズ電話相談の相談内容は、感染不安が24.5%と最も多く、次に感染経路が23.3%と多かった。

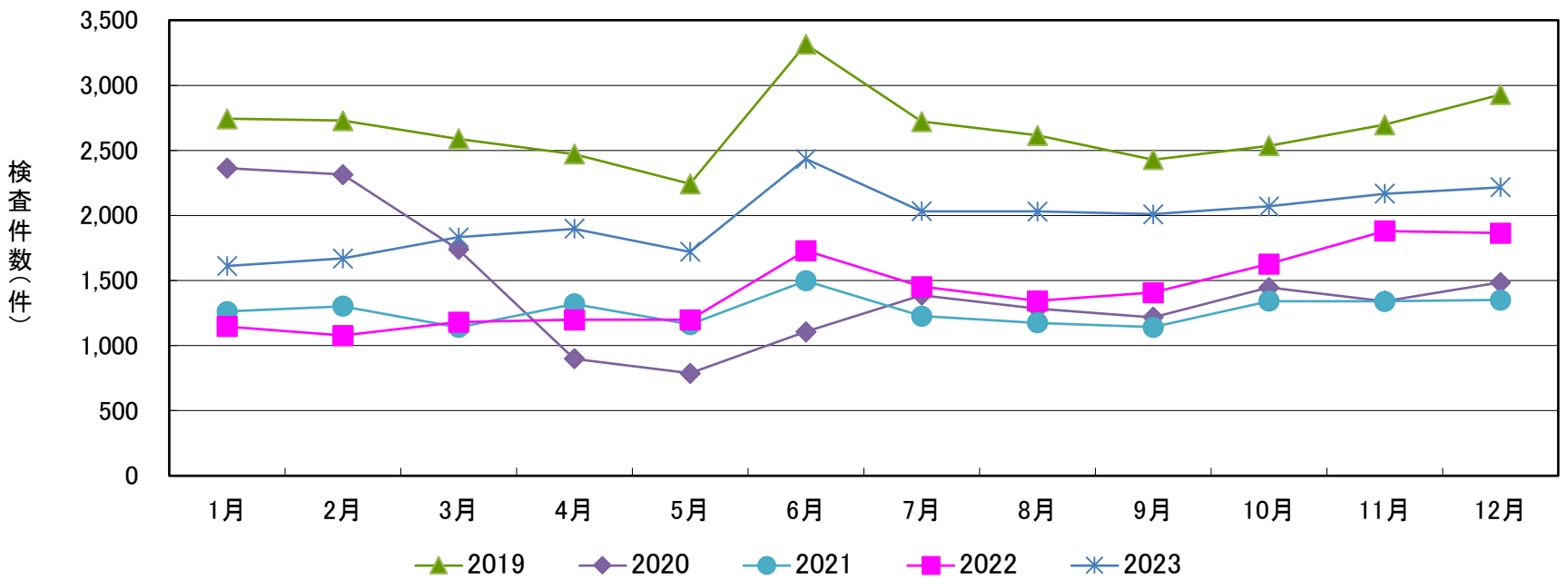
2-5
HIV検査件数
年次推移



	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
区保健所	11,044	10,129	9,885	11,005	11,253	12,198	4,321	3,353	4,577	8,363
都保健所	3,847	3,565	3,561	3,809	4,105	4,423	1,109	336	300	747
新宿東口	10,512	9,662	9,501	10,785	12,408	12,897	10,691	10,427	10,870	12,846
多摩地域	2,129	2,328	1,561	1,321	1,810	2,498	1,249	1,143	1,364	1,737
合計	27,532	25,684	24,508	26,920	29,576	32,016	17,370	15,259	17,111	23,693

検査件数合計は、2020～2023年は、新型コロナの影響による保健所等での検査の休止、縮小により、検査数が減少した。2023年は区保健所が、3,786件増加、新宿東口検査・相談室 1,976件増加、多摩地域検査・相談室 373件増加、都保健所は447件増加した。この10年間で最も多かった2019年と比較すると、2023年は全体は約74%、区保健所は約69%、都保健所は約17%、多摩地域は約70%まで回復した。なお、新宿東口検査・相談室はほぼ同じであった。

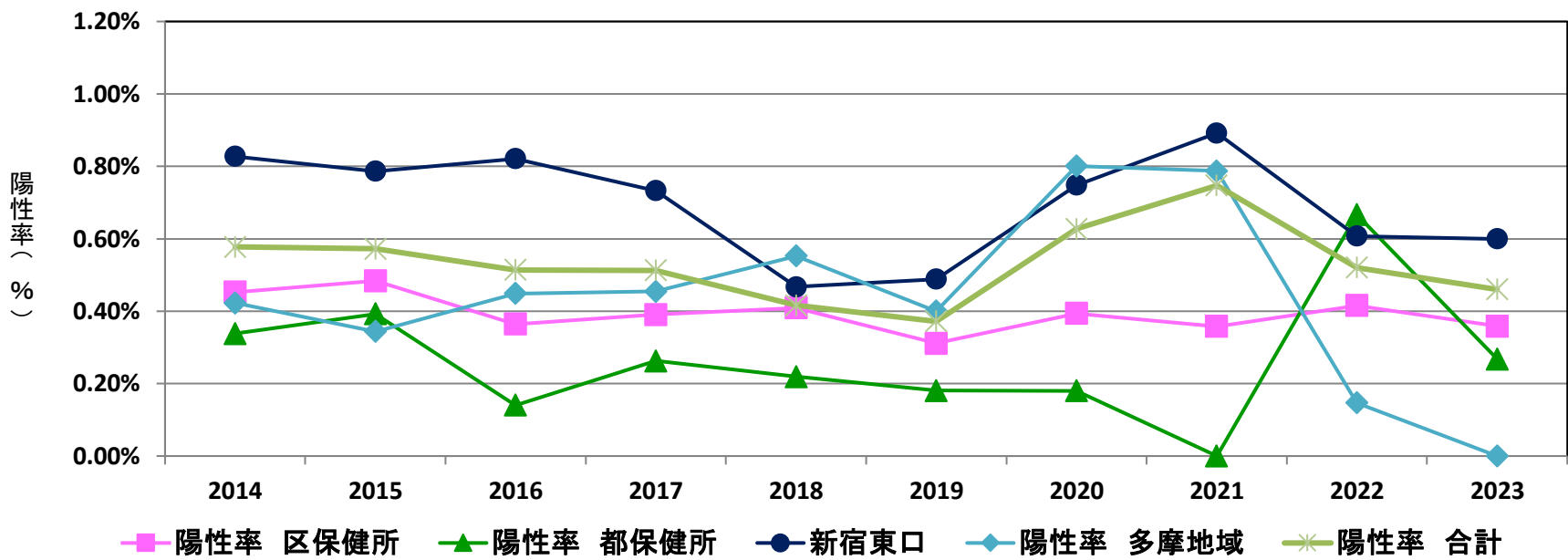
2-6
月別HIV
検査件数



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2019	2,743	2,728	2,588	2,472	2,243	3,315	2,722	2,616	2,429	2,535	2,696	2,929
2020	2,363	2,314	1,738	899	788	1,106	1,388	1,283	1,217	1,447	1,342	1,485
2021	1,262	1,302	1,140	1,320	1,163	1,497	1,226	1,176	1,141	1,342	1,340	1,350
2022	1,147	1,078	1,181	1,199	1,198	1,729	1,453	1,343	1,408	1,627	1,880	1,864
2023	1,612	1,670	1,832	1,898	1,720	2,435	2,033	2,030	2,010	2,070	2,167	2,216

月別のHIV検査件数は、前年より全月で増加した。6月、12月、11月、10月の順で多かった。

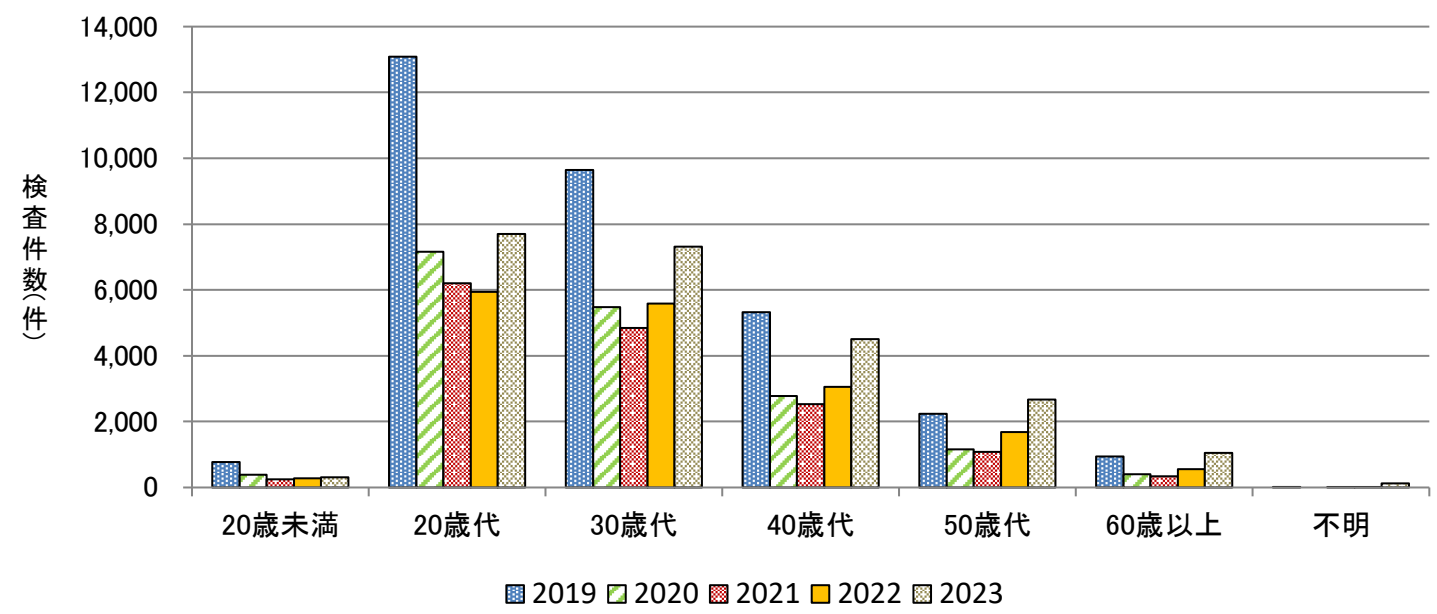
2-7
HIV検査に
おける
陽性件数・
陽性率
年次推移



		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
陽性率	区保健所	0.45%	0.48%	0.36%	0.39%	0.41%	0.31%	0.39%	0.36%	0.42%	0.36%
	都保健所	0.34%	0.39%	0.14%	0.26%	0.22%	0.18%	0.18%	0.00%	0.67%	0.27%
	新宿東口	0.83%	0.79%	0.82%	0.73%	0.47%	0.49%	0.75%	0.89%	0.61%	0.60%
	多摩地域	0.42%	0.34%	0.45%	0.45%	0.55%	0.40%	0.80%	0.79%	0.15%	0.00%
	全体	0.58%	0.57%	0.51%	0.51%	0.42%	0.37%	0.63%	0.75%	0.52%	0.46%
陽性者数	区保健所	50	49	36	43	46	38	17	12	19	30
	都保健所	13	14	5	10	9	8	2	0	2	2
	新宿東口	87	76	78	79	58	63	80	93	66	77
	多摩地域	9	8	7	6	10	10	10	9	2	0
	全体	159	147	126	138	123	119	109	114	89	109

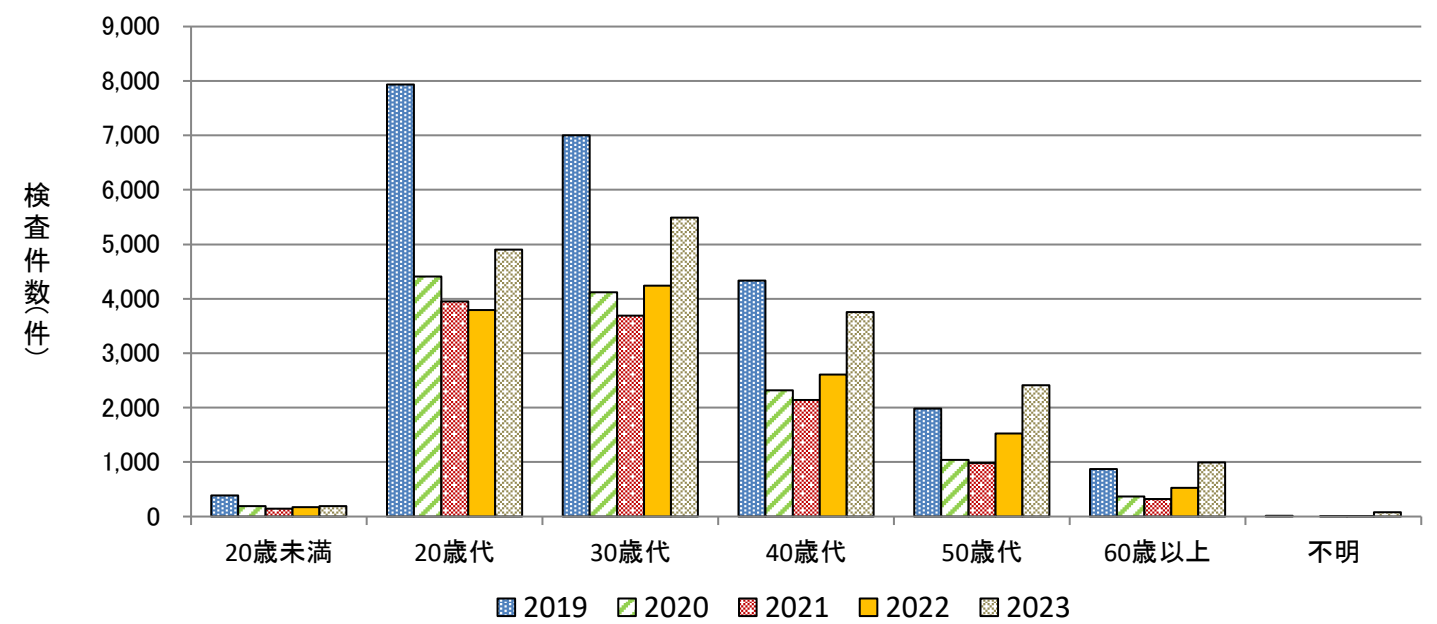
陽性率は、区保健所は0.36%、都保健所は0.27%、新宿東口検査・相談室は0.6%、多摩地域検査・相談室は0%であった。陽性数は、区保健所が前年より11件多い30件と大幅に増え、新宿東口・検査相談室も11件多い77件、全体では109件と前年より20件増えた。

(1)全体



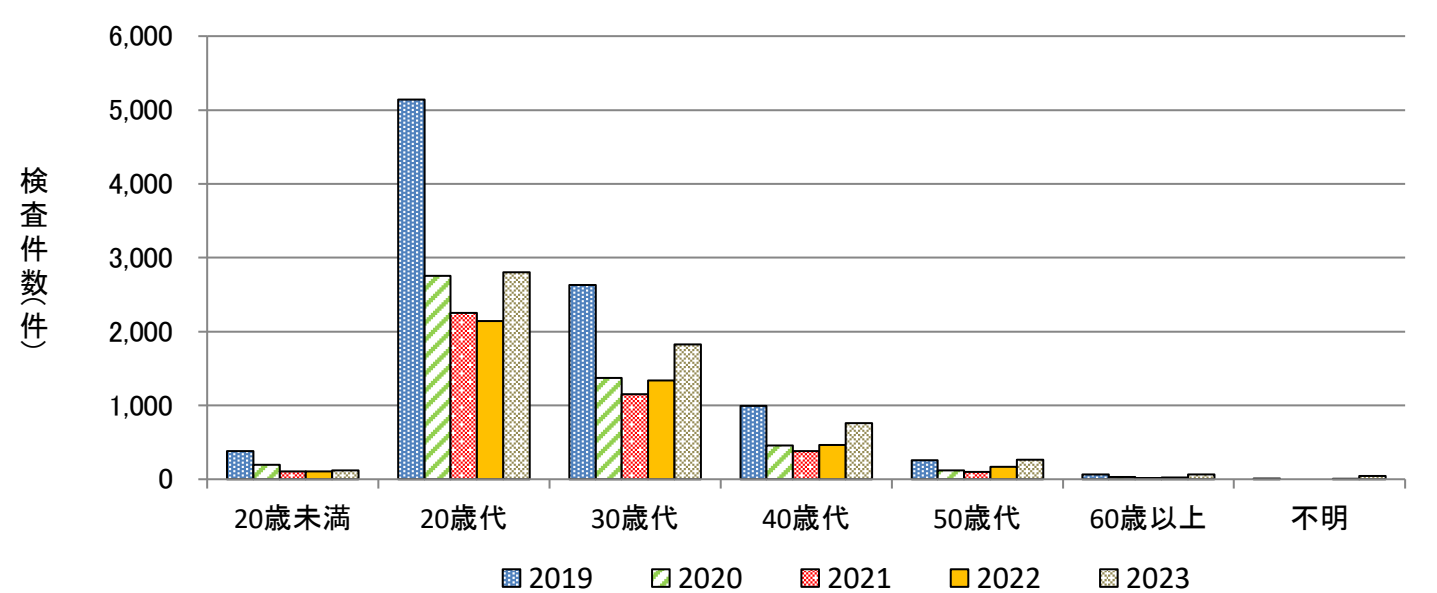
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明
2019	767	13,081	9,638	5,331	2,237	940	22
2020	385	7,162	5,487	2,777	1,160	399	0
2021	254	6,207	4,842	2,526	1,085	342	3
2022	274	5,947	5,580	3,062	1,688	551	5
2023	306	7,707	7,318	4,511	2,674	1,054	123

(2)男性



	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明
2019	386	7,940	7,005	4,335	1,983	874	15
2020	190	4,407	4,116	2,320	1,042	367	0
2021	147	3,955	3,690	2,144	987	322	3
2022	170	3,796	4,243	2,607	1,525	527	5
2023	187	4,902	5,491	3,751	2,410	991	77

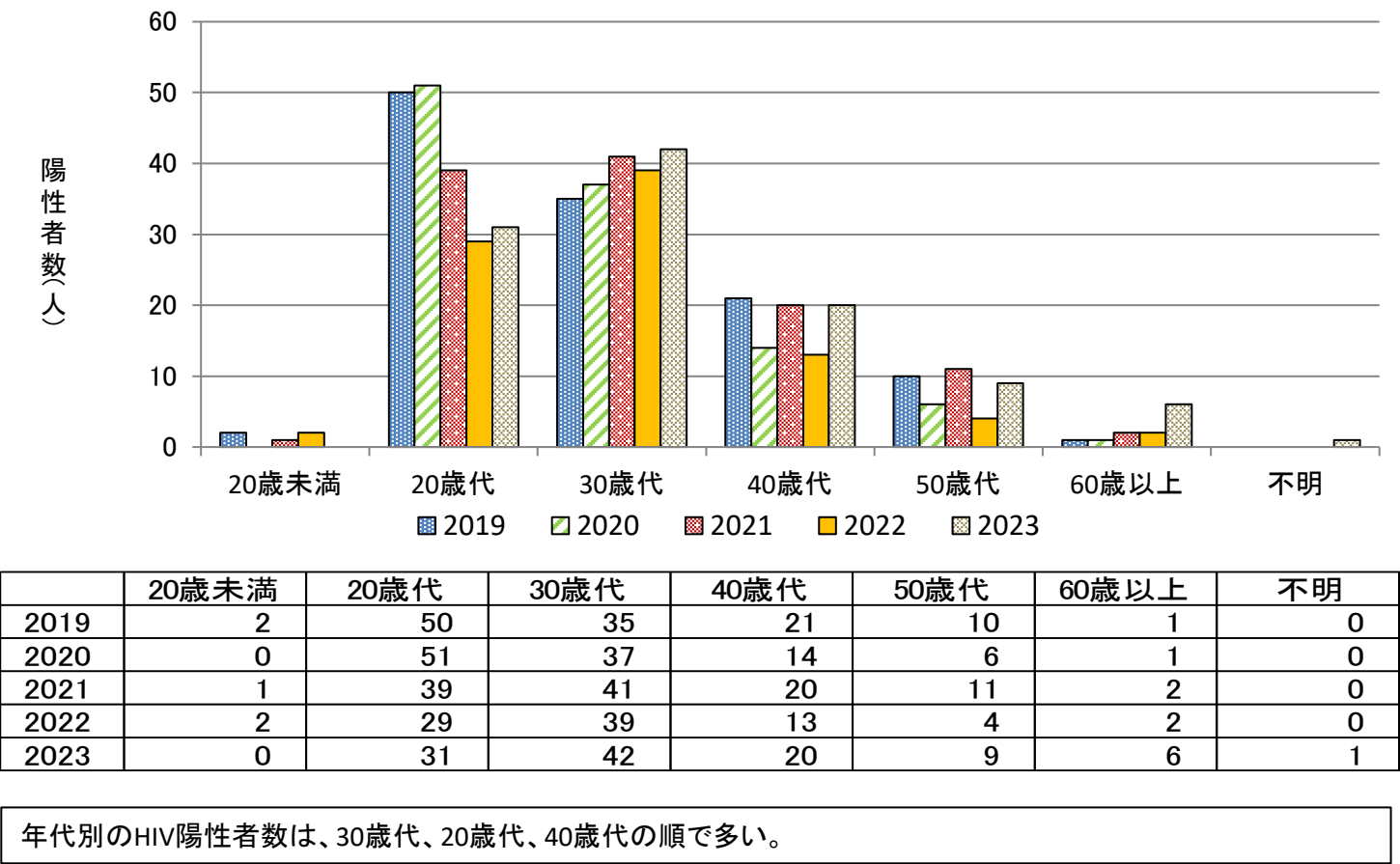
(3)女性



	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明
2019	381	5,141	2,633	996	254	66	7
2020	195	2,755	1,371	457	118	32	0
2021	107	2,252	1,152	382	98	20	0
2022	104	2,144	1,336	464	166	23	1
2023	119	2,805	1,827	760	264	63	46

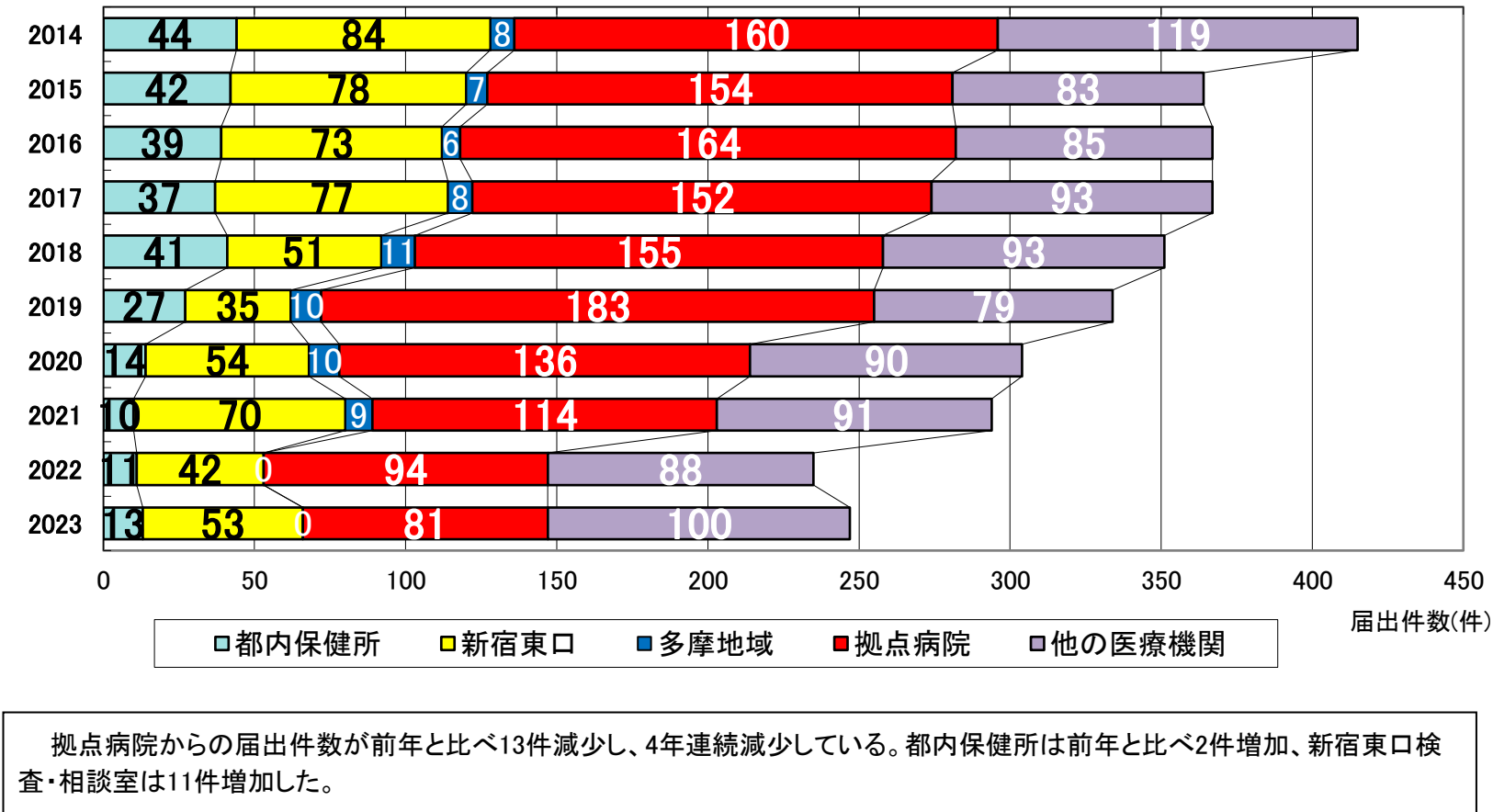
年代別のHIV検査件数は、男性30歳代、女性は20歳代が最も多いが、60歳以上の高齢でも受検している。

2-9
年代別HIV
検査陽性者数
の年次推移



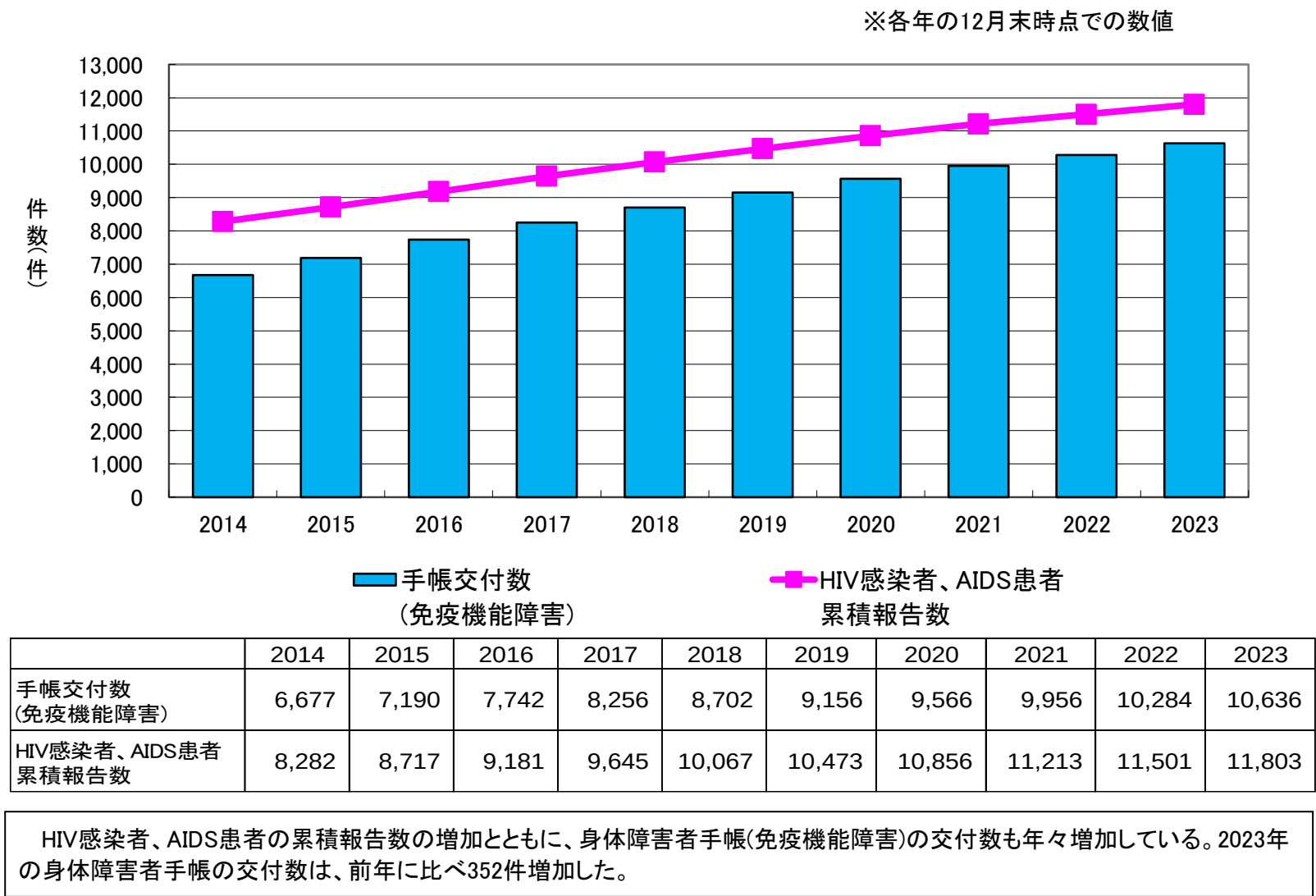
[医療機関]

2-10
東京都の
新規HIV感染
者報告の
届出別割合



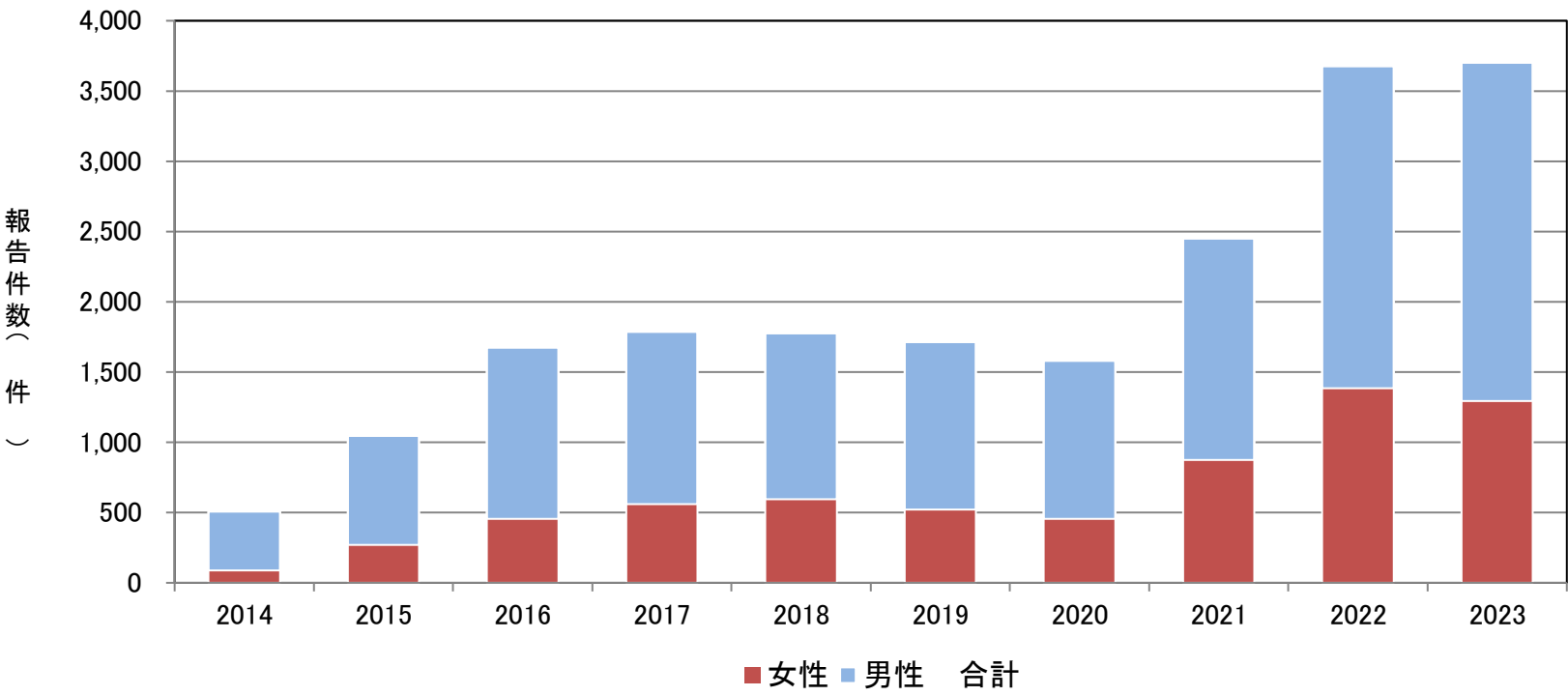
[身体障害者手帳]

2-11
東京都の
身体障害者
手帳(免疫
機能障害)
交付数
年次推移と
HIV感染者、
AIDS患者
累積報告数



Ⅲ 東京都の梅毒患者の発生動向
[梅毒患者]

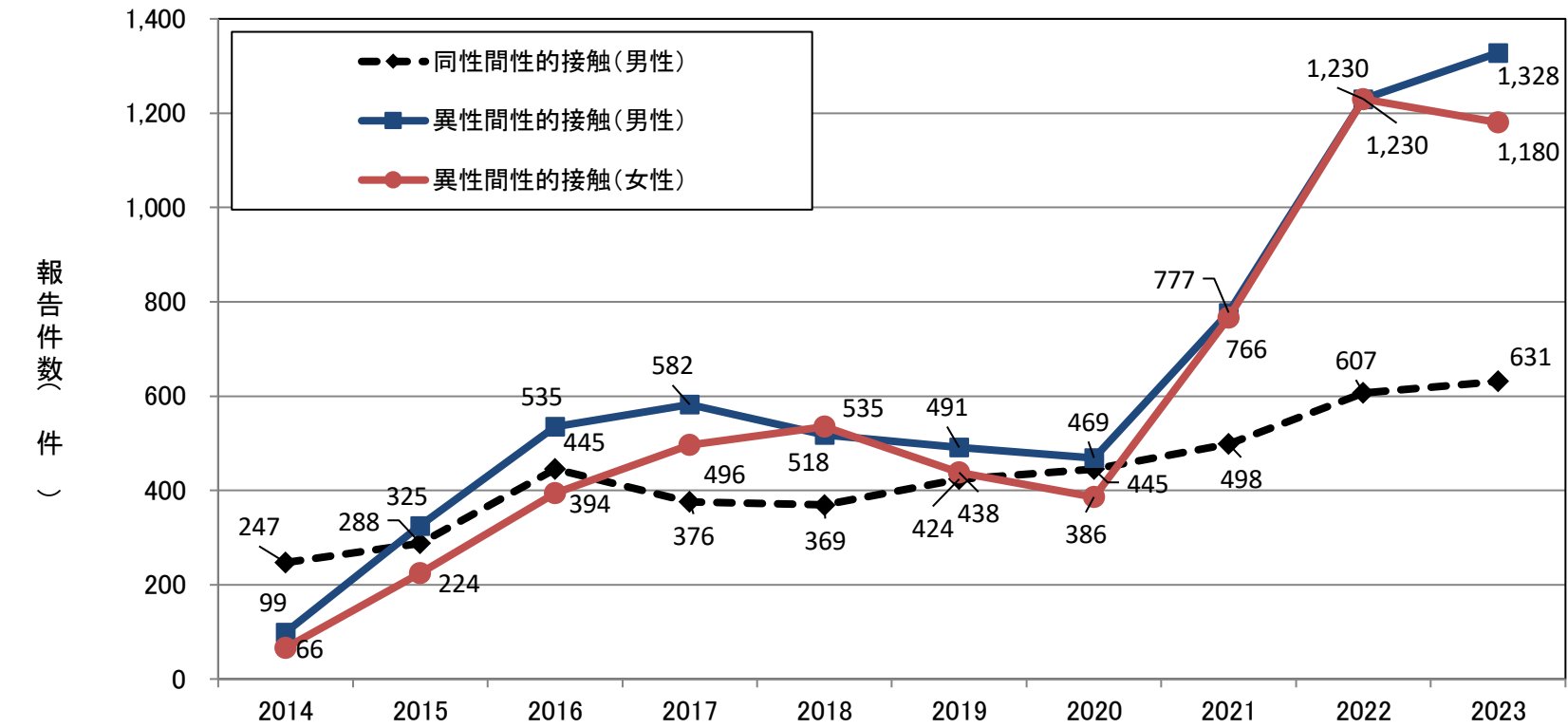
3-1
梅毒患者
報告数の
年次推移



	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
男性	420	773	1,218	1,229	1,180	1,189	1,125	1,577	2,291	2,409
女性	87	271	455	559	595	523	454	874	1,386	1,292
合計	507	1,044	1,673	1,788	1,775	1,712	1,579	2,451	3,677	3,701

梅毒患者の報告数は3,701件で、前年より24件増加し、依然として多い状況が続いている。男女別に見ると、男性は118件増加し、女性は94件減少した。

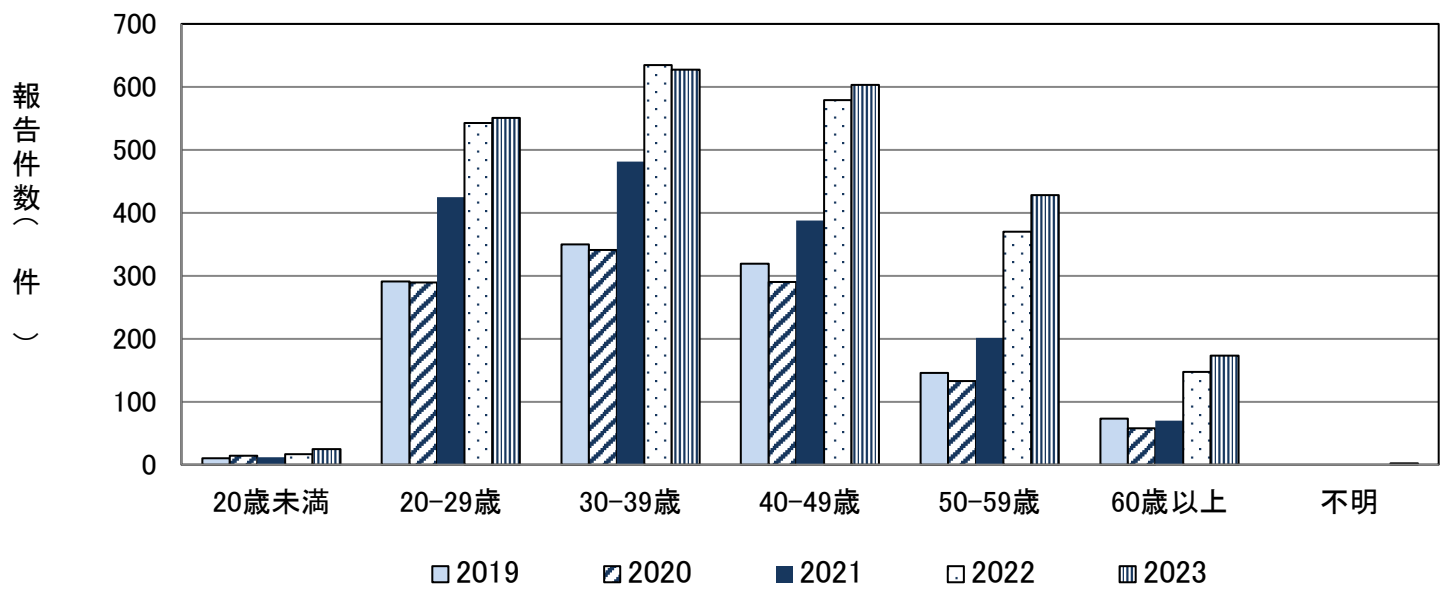
3-2
梅毒患者
推定感染
経路別
報告数の
年次推移



異性間性的接触が多い状況が続いており、男性は1,328件と前年より98件増加したが、女性は1,180件と50件減少した。一方、同性間性的接触の男性は異性間性的接触より少ないが、631件と過去10年間で最も多かった。

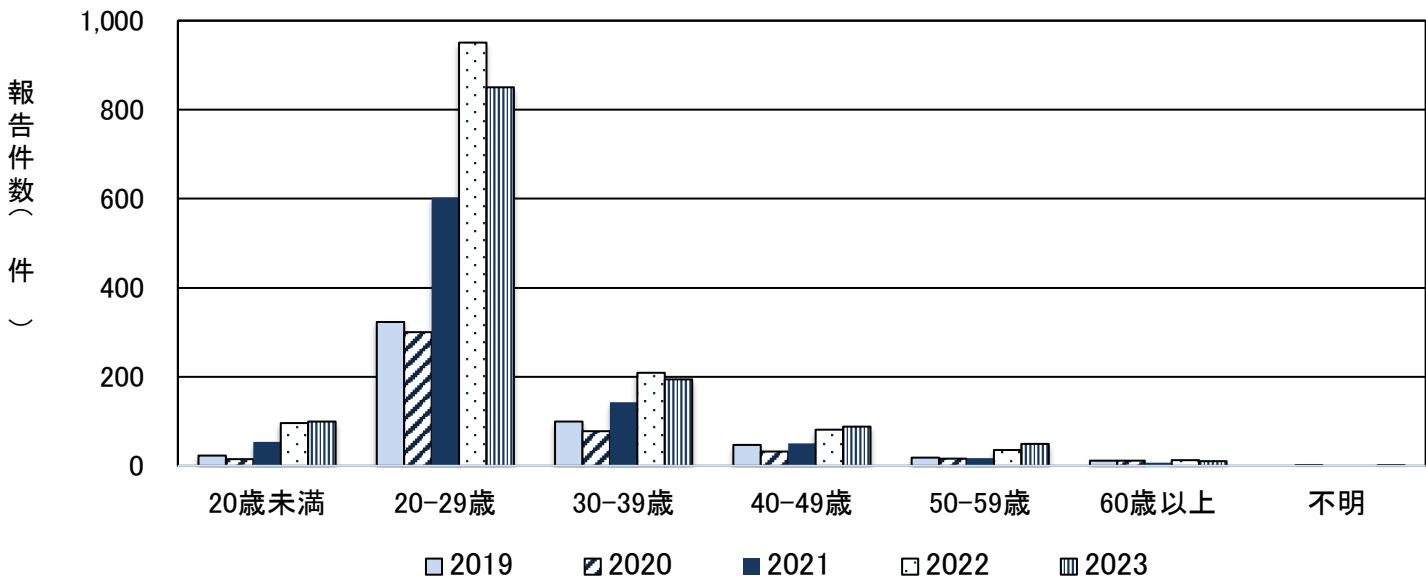
3-3
梅毒患者
性別・年齢別
報告数の
年次推移

(1) 男性



	20歳未満	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	不明
2019	10	291	350	319	146	73	0
2020	14	289	341	290	133	58	0
2021	12	425	481	388	201	70	0
2022	17	543	635	579	370	147	0
2023	25	551	627	603	428	173	2

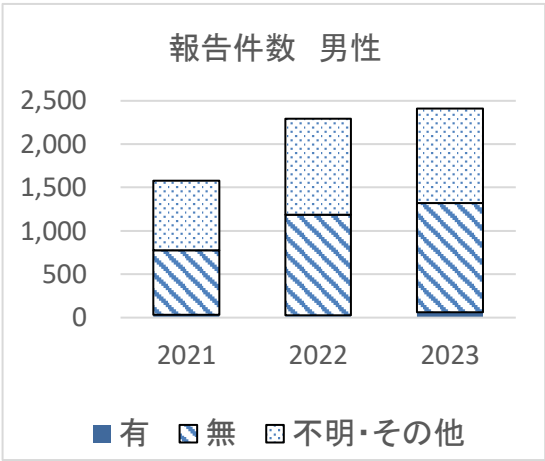
(2) 女性



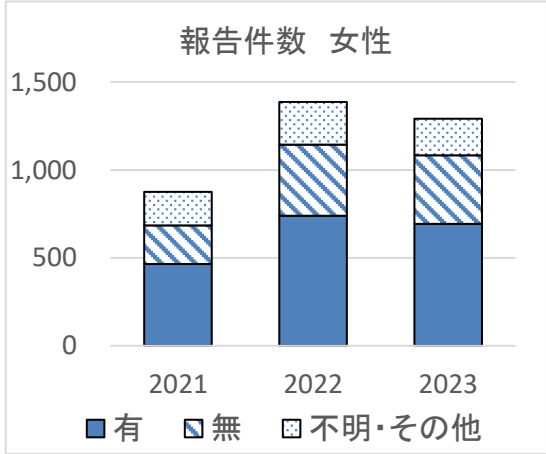
	20歳未満	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	不明
2019	23	323	100	47	18	12	0
2020	15	300	78	32	16	12	1
2021	54	603	143	50	17	7	0
2022	96	951	209	81	36	13	0
2023	99	850	194	88	49	11	1

男女別報告数は、男性は20～50歳代に多く、女性は20歳代に多かった。年齢別の年次推移は、男性は30歳代以外の年齢層で増え、女性は20歳未満、40～50歳代で増えた。

(1) 性別報告件数

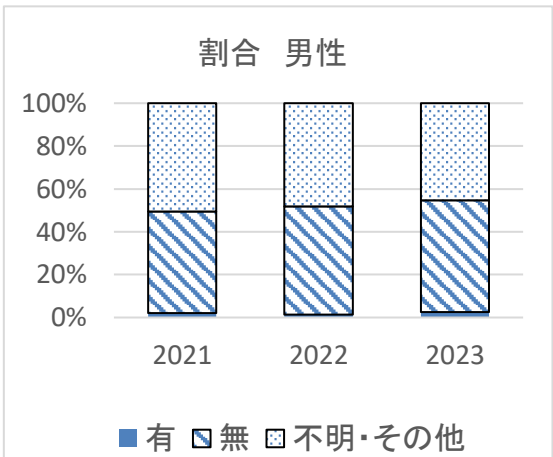


	2021	2022	2023
有	31	29	60
無	748	1,158	1,260
不明・その他	798	1,104	1,089

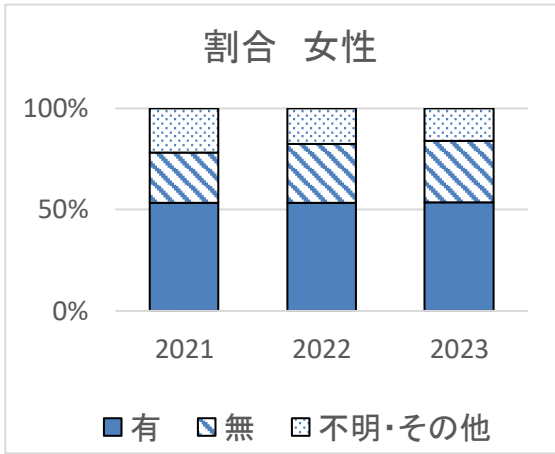


	2021	2022	2023
有	466	739	693
無	218	404	391
不明・その他	190	243	208

(2) 性別割合



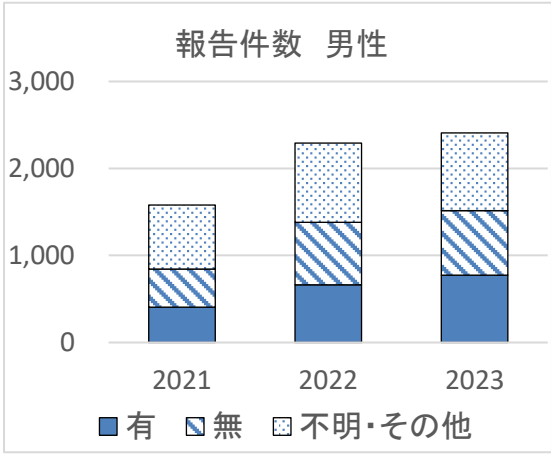
	2021	2022	2023
有	2.0%	1.3%	2.5%
無	47.4%	50.5%	52.3%
不明・その他	50.6%	48.2%	45.2%



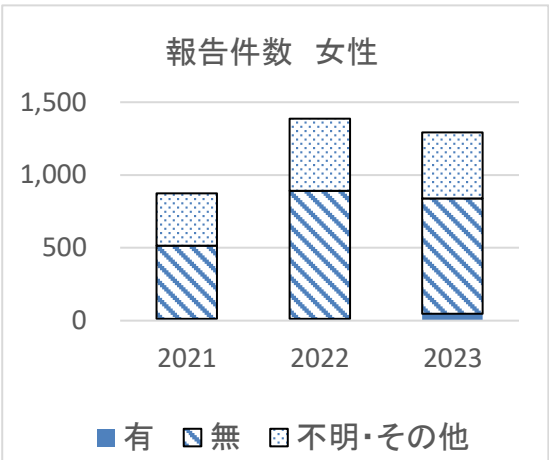
	2021	2022	2023
有	53.3%	53.3%	53.6%
無	24.9%	29.1%	30.3%
不明・その他	21.8%	17.6%	16.1%

女性の性風俗産業の従事歴有は、この3年間半数を占めている。男性は、従事歴有が2023年は前年より2倍となっているが、割合は2.5%と少なかった。従事歴無は52.3%となっているが、不明・その他も45.2%と多かった。

(1)性別報告件数

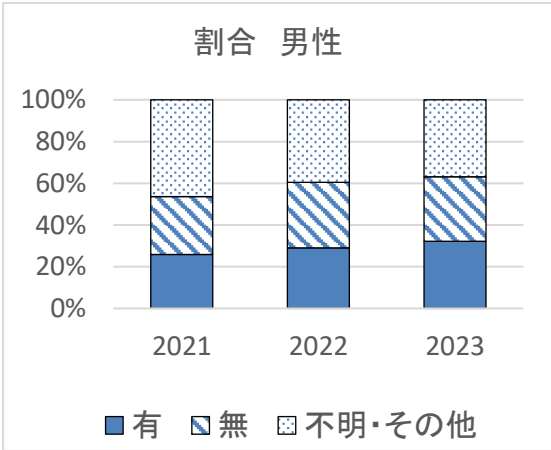


	2021	2022	2023
有	407	663	777
無	437	721	741
不明・その他	733	907	891

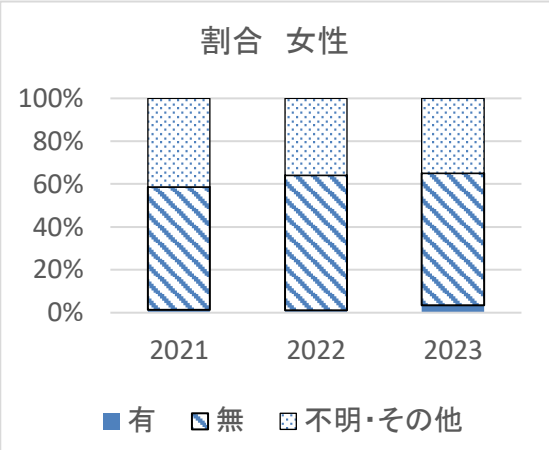


	2021	2022	2023
有	11	14	46
無	503	876	795
不明・その他	360	496	451

(2)性別割合

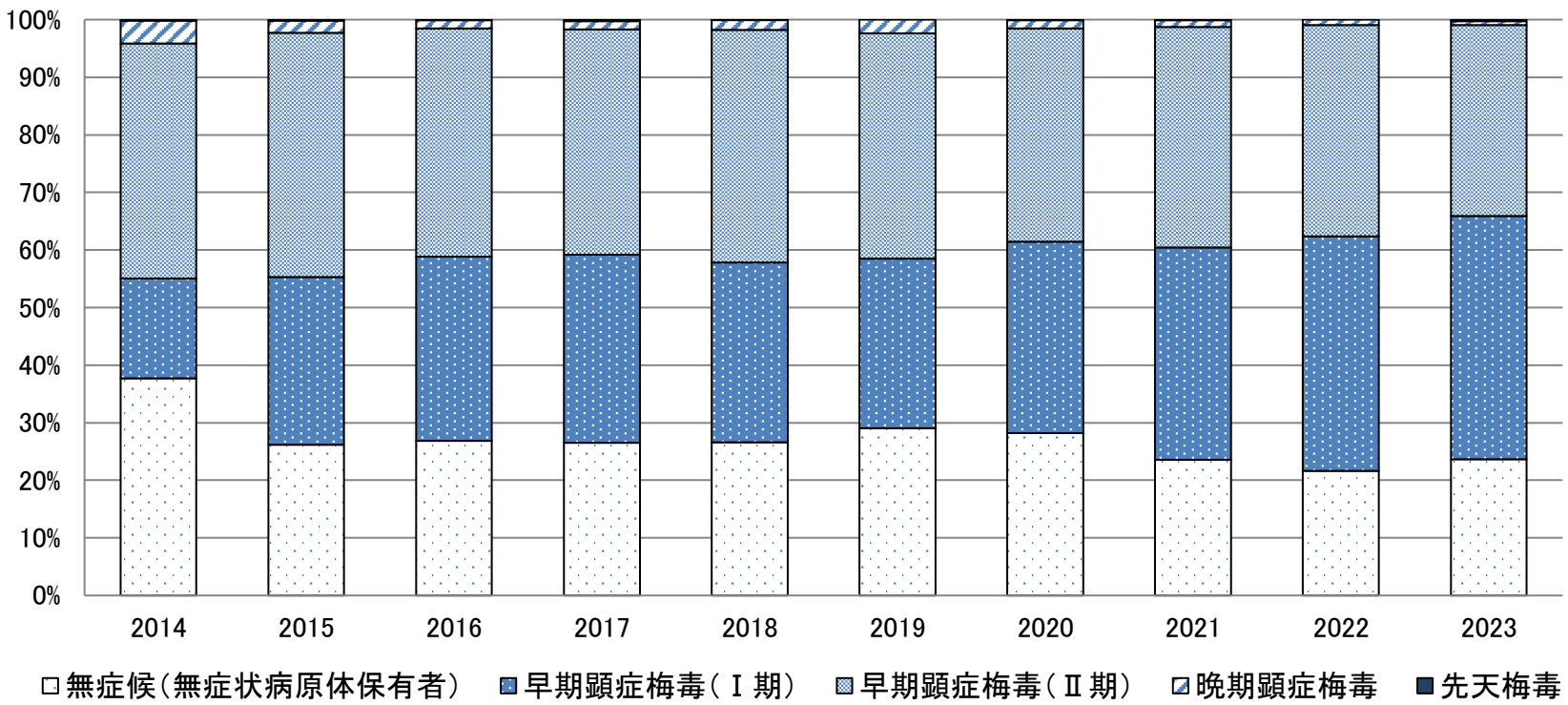


	2021	2022	2023
有	25.8%	28.9%	32.3%
無	27.7%	31.5%	30.8%
不明・その他	46.5%	39.6%	37.0%



	2021	2022	2023
有	1.3%	1.0%	3.6%
無	57.6%	63.2%	61.5%
不明・その他	41.2%	35.8%	34.9%

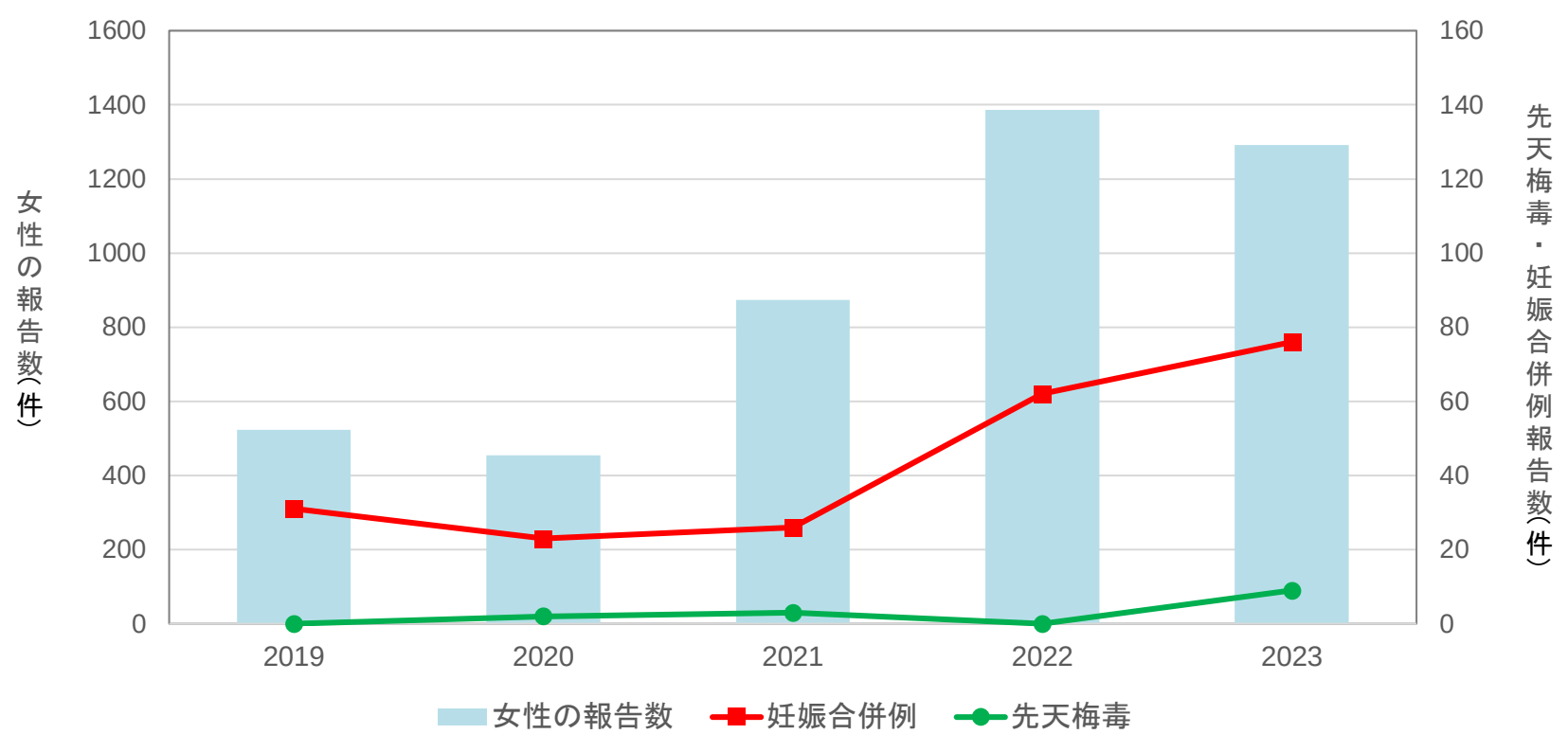
男性の風俗産業の利用歴有は、この3年間増えており2023年は32.3%で、不明・その他も37.0%であった。女性の利用歴無はこの3年間60%前後と変わっていないが、不明・その他も35～40%と多い。



	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
無症候(無症状病原体保有者)	191	273	449	474	472	497	445	578	797	875
早期顕症梅毒(Ⅰ期)	88	304	535	584	555	504	525	903	1,496	1,564
早期顕症梅毒(Ⅱ期)	207	443	664	700	717	671	585	939	1,351	1,228
晩期顕症梅毒	20	22	23	26	30	40	22	28	33	25
先天梅毒	1	2	2	4	1	0	2	3	0	9

2023年は無症候、Ⅰ期の報告数は2022年と比較して増加した。Ⅱ期は減少したものの、2021年以前の報告数より依然として多い。晩期顕性梅毒は前年より8件減り25件であった。先天梅毒は9件と過去最多となった。

3-7
女性の梅毒
患者報告数
と先天梅毒・
妊娠合併例
報告数の
年次推移

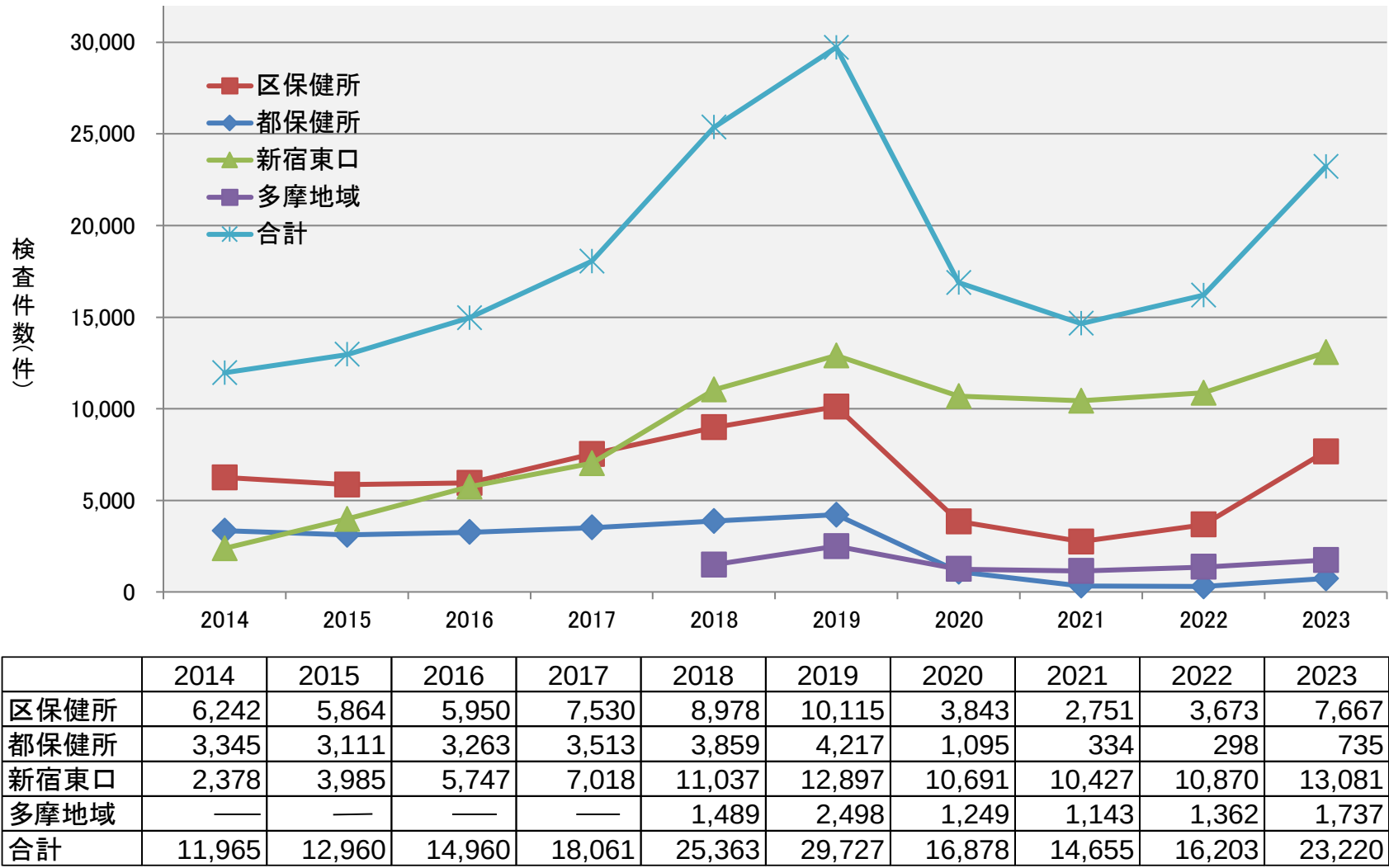


	2019	2020	2021	2022	2023
女性の報告数	523	454	874	1,386	1,292
妊娠合併例	31	23	26	62	76
先天梅毒	0	2	3	0	9

2023年の女性の梅毒患者報告数は前年より減少したものの、妊娠合併例は14件増加し、76件であった。

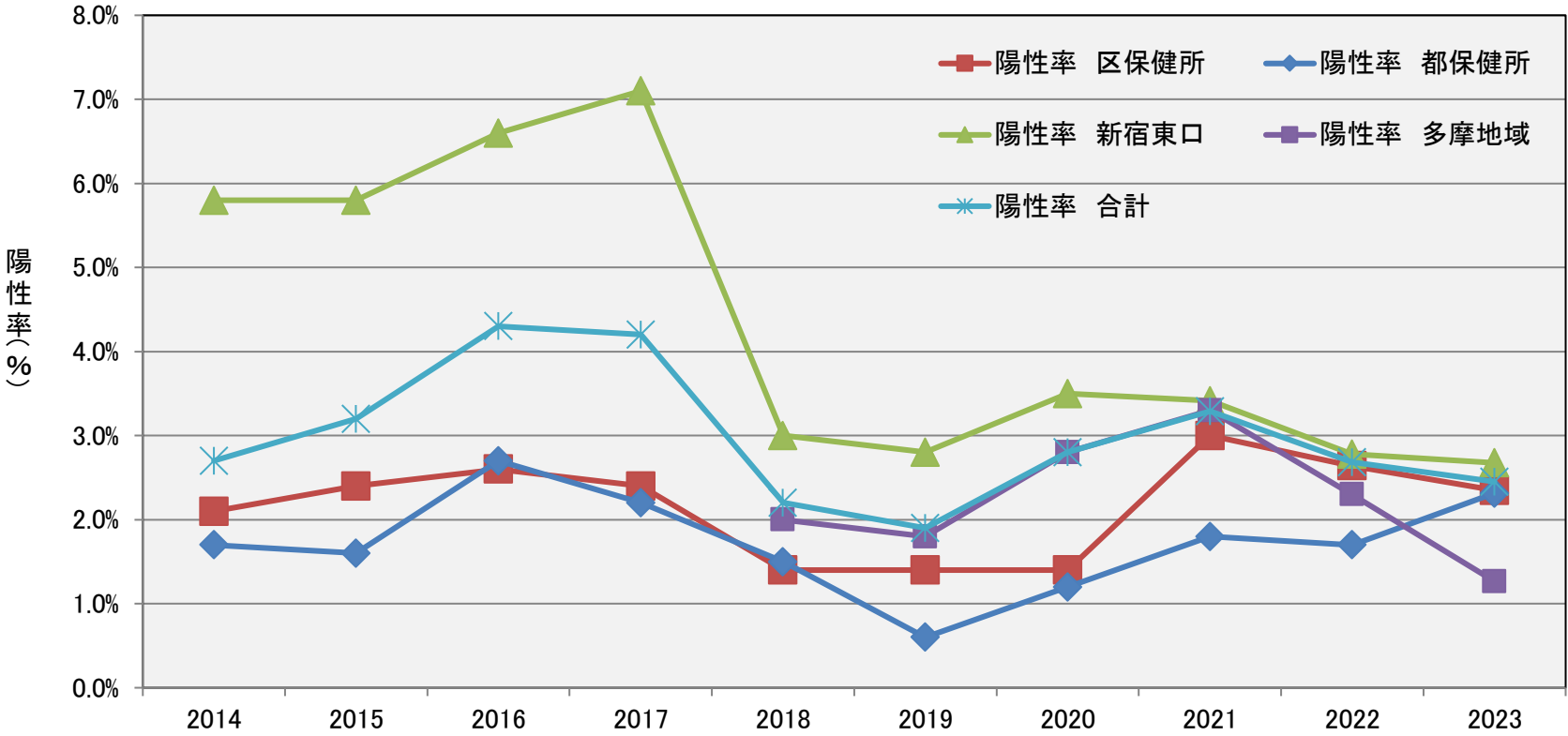
IV 東京都の梅毒検査数

4-1
梅毒
検査件数
年次推移



検査件数は、全体で前年に比べ7,017件増加し、23,220件であった。特に保健所は前年の2倍となった。また、この10年間で最も多かったコロナ禍前の2019年と比較すると、約78%まで回復した。

4-2
梅毒検査に
おける
陽性件数
・陽性率
年次推移



陽性率		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
	区保健所	2.1%	2.4%	2.6%	2.4%	1.4%	1.4%	1.4%	3.0%	2.6%	2.3%
	都保健所	1.7%	1.6%	2.7%	2.2%	1.5%	0.6%	1.2%	1.8%	1.7%	2.3%
	新宿東口	5.8%	5.8%	6.6%	7.1%	3.0%	2.8%	3.5%	3.4%	2.8%	2.7%
	多摩地域	—	—	—	—	2.0%	1.8%	2.8%	3.3%	2.3%	1.3%
陽性件数	合計	2.7%	3.2%	4.3%	4.2%	2.2%	1.9%	2.8%	3.3%	2.7%	2.5%
	区保健所	130	142	156	178	124	140	55	82	97	180
	都保健所	58	49	88	79	59	24	13	6	5	17
	新宿東口	137	230	381	500	335	359	375	356	302	350
	多摩地域	—	—	—	—	30	44	35	38	31	22
	合計	325	421	625	757	548	567	478	482	435	569

陽性率は保健所は2.3%、新宿東口検査・相談室は2.7%、多摩地域検査・相談室は1.3%で、全体は2.5%と前年より0.2ポイント減少した。陽性数は区保健所は180件と、この10年間で過去最多、都保健所は前年より12件増え17件、新宿東口検査・相談室は350件と前年より48件増え、全体で569件となった。

○世界のHIV/AIDS流行状況 2023年末現在（UNAIDS/WHO）

HIV 感染者数(推計値)

3,990 万人(3,610 万－4,460 万人)

2023年における新規HIV 感染者数（推計値）

130万人(100 万－170 万人)

2023年におけるAIDS による死亡者数（推計値）

63 万人(50万－82万人)

実際の数値は推計値の右側（ ）内に記載された数値の範囲内に存在する。
これらの数値は入手可能な最良のデータを基にして算出されている。

○日本のHIV感染者、AIDS患者累計数2023年末現在（厚生労働省）

HIV感染者報告の累計数 24,532 件

AIDS患者報告の累計数 10,849 件

《検査は匿名・無料》

★東京都新宿東口検査・相談室 HIV通常検査（予約制）
HIV検査と同時に梅毒検査も実施しています。

所在地：新宿区歌舞伎町2-46-3 SIL新宿ビル2階
開室時間：月～金曜日（祝日を除く）15:00～20:00
土・日曜日（祝日を除く）13:00～17:00

※毎週水曜日は、女性のための検査日です。
※6/1～6/30及び11/16～12/15は、希望者には性器クラミジア・淋菌同時検査を実施します。
（尿検査のため、検査日の前日までに尿採取セットの受け取りが必要）

新宿東口検査・相談室
の詳細



★東京都多摩地域検査・相談室 HIV即日検査（予約制）
HIV検査と同時に梅毒検査も実施しています。

所在地：立川市柴崎町2-21-19 東京都立川福祉保健庁舎内2階
検査受付時間：土曜日・日曜日（祝日を除く）9:50～11:00
問い合わせ先 090-2537-2906（平日：9:30～17:00、土・日9:30～15:00）
※判定保留の場合は原則1週間後に検査結果を通知します。

多摩地域検査・相談室
の詳細



★東京都HIV等検査予約サイト
新宿東口検査・相談室、多摩地域検査・相談室のほか、
多摩地域の都保健所の検査が予約できます。
<https://yoyaku.metro.tokyo.lg.jp/>

※インターネット予約
（24時間）



★東京都HIV等検査予約センター
新宿東口検査・相談室、多摩地域検査・相談室のほか、
多摩地域の都保健所の検査が予約できます。

予約電話番号（東京都HIV等検査予約センター）：050-3801-5309
電話予約受付時間：10:00～20:00（年末年始を除く）

★東京都HIV検査情報Web
都内の保健所、検査・相談室で受けられるHIV検査や他の性感染症検査の
情報が載っています。
<https://tokyo-kensa.metro.tokyo.lg.jp/>

東京都HIV検査情報Web



★東京都HIV/エイズ電話相談
電話 03-3227-3335（月～金：正午から午後9時まで、土・日・祝日：午後2時から午後5時まで）

★HIV/エイズに関する相談・検査（匿名・無料）は各保健所へ

【発行】東京都保健医療局感染症対策部
防疫課エイズ対策担当
〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 03-5320-4487